

## 第6回（プレ）幹事会【議事録】

○日 時：平成29年10月12日（木）19：00～21：30

○場 所：江東区文化センター 6階 第3会議室

○出席者数：16名

### 議 事

#### 1. 開会あいさつ

発言者	要旨
①	幹事会⑥プレを始めさせていただきます。先日の意見交換会ではありがとうございました。本日は21時30分を目途に終わらせたいと思っております。今日もよろしくお願ひいたします。

#### 2. 全体討議

発言者	要旨
④	今日のプログラムは資料①でございます。ここに開会のあいさつで、いくつか資料のご紹介がございます。⑤さん、お願いします。
⑤	今日は資料が7種類ございます。最初がタイムスケジュールになっております。資料②がA4横のものですけれども、前回の意見交換会の来場者36名の受付票より、属性を整理したものです。ざっと説明しますと、一番多かったのは70代の方が15名。城東南部地区、北砂、南砂、東砂の方が25名で最も多かったということになっております。資料③ですが、参加者に記入頂いたアンケートになります。資料④は、ブース別での意見交換時の付箋を入力したものです。これは、まだ編集等できていないですが、全て書かれたことは入力してございます。資料⑤は⑧さんに実施して頂いた、シールアンケートを集計したものになります。資料⑥が一番分厚いものですが、火曜日にメールを送らせて頂いて、「幹事会⑥プレに向けて」ということで皆さんにご記入頂いたもので、今日の15時くらいまでに届いたものを印刷して持って参りました。もう一枚、⑥さんと①係長のもの別紙についております。最後に資料⑦が本日のアンケートになっております。本日の資料は以上です。
④	ありがとうございました。この前が終わってということで、ちょっと丁寧に確認した方がいいかと思ひます。ブース毎の打ち込みまでして頂いておりますので、資料番号はいくつですか。
⑤	資料④です。
④	資料④をご覧頂くと、ブース番号A、B、C、Dとある。時間のない中でよく入力して頂きましたけれども、この中でブースA担当だった方は手を挙げて頂いて良いですか、ありがとうございます。ここに書いてあるなかで特にこういう人、特記しておきたい、アンダーラインしておきたいという部分を確認して、A、B、C、D、それぞれやってみることで振り返りができると思うんですが、それだけちょっとさせて頂いてよろしいでしょうか。Aの方、⑳さん、⑧さん。⑧さんはいなかったですが…。

⑧	僕はシールのところにいました。
④	そうですね。それではシールのときをお願いします。 ⑦さんとお二方で、「ここはアンダーラインを引いてもらいたい」というところをご指摘頂いて、みんなで思い出してみたいと思うんですけども、ナビゲーションしてもらっても良いですか。
⑦	基本的に皆さん、2番目の『調査をすべき』と。要は「計画を作るに際して交通量等、事前の調査が十分ではなかったのではないかと。そういう指摘をいくつか頂きました。特に僕が感じたのは下から3番目で、ここに参加された方は20名前後だと思うんですが、皆さん「いまのままで良い」と。「公園を削る必要はないんじゃないか」「一方通行等をやれば何とかなるんじゃないか」と、そういうご意見の方が殆どというか、皆さんそうだったんですけども、お一人だけ「公園を削っても良いんじゃないか」と。「賛成意見をぜひ言って下さい」と言ったら、「車いすの利用者が双方向できるようにするなら歩道は2m必要だ」ということをおっしゃられました。公園を削って良いということではなくて、「歩道は2mで双方向行き違いができるようにすることが、必要なんじゃないか」と、「公園が削られなければ、それに越したことはない」というご意見だった。お一人だけだったので勇気がある方だと思ったことと、考えないといけないことではないかと思いました。
⑩	私も⑦さんと注目しておくべきところは同じなんですけれども。アンケート調査すべきではないかというご意見もありました。⑦さんからは賛成の方からのお話だったんですが、反対の方からもお一人ですが、歩道について「皆さんは健常者だからいいけど、健常者じゃない人のことも考えなきゃいけないんじゃないか」というご指摘を別の方から頂きました。そういうご意見はありがたいと思いながら聞いていました。
④	皆さんから質問というか、確認したいことがあれば、いかがでしょう。 私から一つ伺ってよろしいですか。 真ん中あたりに『一方通行でも、駐車可能な場は必要』という記述がありますが、駐車ということに関わる何か話題が出ていたのであれば、これ以外でもご披露頂けると嬉しいのですが。
⑩	参加された方から出たか、⑨さんがそういったお話を皆さんとされていたので私はちょっと。
⑦	下から4番目ありますね。『一方通行の方が、歩道も確保できるし歩行者も安全だ』という意味だが、お聞きしましたら、いま双方通行のため歩道のところ、ガードレールの間に車が入ってそれで待つわけです。だから歩行者としては危なくて通れないと。そういうことは一方通行にすればなくなるんじゃないかと、一生懸命説明されている方がいたんですよ。僕は、一方通行でも同じように逃げないといけない、いまの駐車の話ではないですけども。何れにしても下から4番目の意見はそういう方だったんです。「とてもじゃないけどあの歩道は歩けないよ」と、かなり熱を入れて説明されていましたね。絵を描きながら。
⑩	「公園を削ることは、当然反対だけど」と仰っていましたけれど、そういうことも言われていましたね。
④	いまは「歩行者の空間に車が入り込んでくる状況は回避して欲しい」ということですね。
⑦	それは「一方通行にすれば解決できるのではないかと、その方は仰っていました。
④	他にいかかですか。

	<p>もう一つ、踏み込んで伺っていいですか。</p> <p>「一方通行にしたら全て解決だろう」という質問をされたときに、⑳さんならびに課長もいらっしやったかと思いますが、どんな話題までブースではやり取りしていたんでしょうか。</p>
⑳	<p>一方通行について、最後課長が皆さんにお話していたのは、私が以前に幹事の皆さんへ資料の参考に付けさせて頂いたもの、「公園のところに迂回できるような部分が必要なんじゃないか」ということと、城東警察からのご意見の話をしていたくらいだと思います。</p>
④	<p>それは言っている内容は、やり取りされるだけの理解が共有されていましてでしょうか。</p>
⑳	<p>そこまでの理解はないと思います。ブースの時間の最後の方にその話をしていましたので、そこから意見のやり取りは、あまりなかったかと思います。</p>
⑦	<p>その点いまの、要するに一方通行にすると警察は「公園の南北の間に1～2本くらい交差できる道を作らないといけない」というコメントされています、と。</p>
⑳	<p>ご意見としてはありました、ということで付け加えますと、そのときはそういう話だったんですが、必ずしも一方通行にするように、それが必要かと言われると「あった方が良いでしょうね」と。皆さんがご不便になるので。</p>
⑦	<p>その時の何人かの方は「車だから。500mか1kmくらいだから、回り道すればいいんじゃないの」と。こういうようなことを言われている方が2～3人いたのかな。車だよ、と。歩行だったら大変だけど、と。</p>
④	<p>一方通行という希望が、改めて、いま皆さんに回覧しておりますエクセルで見て頂くと、大変提案数が多いんですよ。1104 や意見交換会①の意見を見ても、「一方通行で全部解決できるじゃないか」という意見は大変多い。それに関わるやり取りが、この前意見交換がどこまでできているか確認したかった。一応課長からもその話はして頂き、それについて「そんなことないだろう」というような話のところまでは話題として出たと、そういう理解でよろしいですか。</p>
⑦	<p>僕自身もそうだが、感覚的に「いま双方交通できるのを一方通行にすれば、余裕ができるのではないかと」、「それを利用すれば、歩道を拡大できるんじゃないか」と感覚的に思っている。⑳さんがよく説明されているが、実際に一方通行にしても色々な、ここで言えば駐車の手や、消防車等は1台停まっても通らなきゃいけないなど、一方通行にしたときの問題点は具体的に、少なくともあの場では議論することができなかった。まだ感覚論で、普通はそう思うと思うが、そこに留まっているかなと。残念ながら「なぜ一方通行にしても、なかなか歩道の幅を確保しがたいか」という区の説明を、具体的にしてもらえない時間がなかったと僕は思いました。まだ議論の余地はたくさんある。</p>
⑧	<p>議論は一方通行が多かったんですか。それとも現状維持という形のなかの対案としてそういう話が出てきたんですか。現状維持は本当はしたいんですけどそういった問題点が、例えば⑳さんが歩行者の話を。それからいま仰ったすれ違いの話を。そういったことの問題点として整備案が出てきているとすれば、現状維持が本当は望ましいけど、対応案とすれば「一方通行だ」と。だから本当は現状維持がいいんだという風な話ではなくて…。</p>
⑦	<p>Aに来ていた人は「現状で良いんじゃないか」「歩道はいらんないんじゃないか」という人もいた。基本的には公園をいじって欲しくないという人がたぶん大半で、だけど「歩道は必要で、歩道の幅を確保しなきゃいけないんじゃないか」という認識を持っている方も、数</p>

	は分かりませんが結構いたんですね。先ほどの2m、車いすの話をされたときには皆さんも「そうだね」「そういう問題があるんだね」と納得されていました。公園は削って欲しくない、いまのままで良いというのがベースなんだけど、一方で歩道は確保した方が良くだろうと、こんなような意見でした。
⑧	いまの交通量を踏まえても歩道が必要だと、皆さん仰っているんですか。
⑦	自動車について、交通量は少なくなっているようだ。
⑧	相当少ない状況でも歩道は必要だと、皆さん仰っているんですか。
⑦	歩道は必要だ、と言っていました。
⑳	話題の展開からすると、一番最初に私の歩道の話と、皆さんが公園を削って欲しくないというなかで、「現状のままで良いか手を挙げよう」と皆さんがやられて、殆どの方が「現状のままで良い」となった。それがあって歩道の話題になったときに、⑦さんからご説明があったような話もちよっと出てきました。
⑧	歩道を認識すると一方通行案も出てくるという話ですね。
①	昨年、私が町会を㉑などと一緒に回って、地元面に面しているマンションや町会さんに行くと「やはり歩道は欲しい」と。去年の最初（の計画案）は、自転車走行空間が歩道のそばに付いていたので、それについてはご意見がたくさんありましたが、地元のところに行くと共通して言っているのは「歩道が欲しい」。歩道の作り方は色々のご意見はあると思うんですが、区としても弱者の方にできるだけ配慮しなくちゃいけないことを考えると、歩道は作りたい。 ⑨さんも歩道を作ることに限っては、「地先の方として」というお話も前にはしていましたけれども、歩道は必要かと。どういう作り方をするかということもあるかと思うんですけれども、少なくとも歩道は欲しい、作りたいと。地元の町会や地元の地先のマンション、⑩さんのところも含めて色々回らせて頂きましたけれども、歩道を作ることに限っては反対はなかったですね。
⑦	自転車道について意見は、出なかったですよ。
⑳	議論はなかったですが、お一人かお二人か、「歩道より自転車を何とかしろ」という話がちょっと出たような気がします。
④	それは車道部分ですか。
⑳	いえ、そこまで具体的なお話はされていないです。
④	ありがとうございました。 Aのブースは交通関係の話ではありましたが、立場によって考え方がいくつか変わるだろうということ、いま確認できたと思います。情報の共有というレベルでいくと、まだ共有情報が行き渡っているとは思えない。またそれを揉みあげて行って相談する考え方、調整するときには決断が必要だ、というところにもまだ至っていない。それがいまの報告の中でもあったかと思いますが、ただその入口がやっとできたという、これは大きな一つの成果だということで、次をどう作るかが課題の一つではないでしょうか。
⑦	下から2番目の『地域住民の知恵を』と、何人かの方が色々と言っていたんですけども。「例えば」と男性の方がぼそぼそと、電線地中化は地上に何か置くんですよね。それを歩道というか緑地帯に置くのではなく、いらぬ不要スペースがあるよね、と。例えば公園の入口とか、「色々知恵があるんじゃないの」というようなことを。いま僕が記憶してい

	<p>るのはその男性の方ですが女性の方も、例えば護岸の話ですね。あれを削ったりしてスペースが確保できるのではないかと、何かやり方があるはずだよね、と。その人は具体的に何か持っているかと言えばそこでは出ていなかったけど、「何かあるはずだよね」というのは何人かいましたね。そこに住んでいる人が持っている知恵というか、そういうことを言っていました。</p>
④	<p>そういう話が出てくる背景は、この文章の中にもある「公園を削らないで成立させる知恵」という意味でよろしいですか。</p>
⑦	<p>ベースは全部それですね。</p>
④	<p>他の方でも結構ですが、このブースに係る話で話題にしたいことはありますか。</p>
⑯	<p>当日女性が発言したんですけれども、それは私の住むところの住民です。要は公園を狭めるために、道路を拡張するためには狭めなければならないのであれば、触らないで道路も現状のままで良いです、と。その代わりに一方通行だけはしてもらいたくない。だから原点というかスタートに戻りますが、道路拡幅ありきで公園が狭まるのか、公園整備のために道路が、ついぞと言ったら失礼ですが、そうなったのか。時系列的な問題なんですよ。これは色々ご意見を出されている人が、私どもの住民も私と同じ考えなんですけれども、果たして沿道に住んでいる人の意見かという、ちょっと疑問に思っています。一方通行の考えとしては良いですが、実際に生活している者からするとハテナなんです。であれば、現状のままでいいという考えなんです。</p>
⑰	<p>それは現状のままで、道路も拡幅しない。公園を削るくらいなら道路をそのままでもいい、と。</p>
⑯	<p>ですから「そういうことになるのであれば、一切やらなければいいんじゃないの」という。「ただ箇所補修が必要であれば、それをやれば良いんじゃないですか」という考えだと思います。</p>
⑦	<p>いわゆる一方通行になると不便になるから。</p>
⑯	<p>それもありますし、結局公園が先なのか、道路が先なのか、それが原点でしょう。現実問題、沿道に住んでいる人間がやはりそこに行くんですよ。</p>
⑦	<p>『アンケート調査をすべき』ではないかというのはそういう。周辺道路に面している、近くの車利用者は当然不便になる。でも住む人の声です。そういう意味では住民の人たちの声を聞く必要があるんじゃないか。道路に隣接した人じゃなくて、広く一般に「公園はどうなんですか」というアンケートを取ったらいいんじゃないか、というのはこの2番目の意見で、まさにそういうことです。色々な意見があるだろうからということで、そういう風にこの人は言っていましたね。</p>
④	<p>アンケートというのは先ほども話題に出していましたけれども、最終的に選択をどちらにするか、意思の最終決定という意味合いのアンケートと、どういう思考を持っているか、元よりのニーズはどこにあるかという意味のアンケート。時期的なことは考えないで、どちらのアンケートという意味で⑦さんのお話をイメージされていましたか。</p>
⑦	<p>僕の受け止めとしては、意思決定するに際して、こういうデータが必要なんじゃないのかな、と。区の方から、一方通行には住民の方の声があるのかないのか、必要であるとか、そんな話は1回も出ていませんでしたか。されていませんか。</p>
⑳	<p>全体のときには少し。</p>

⑦	少し言われましたよね。それとの関連もあるんだと思うんです、このアンケートというの は。
④	アンケートという形は前回取っていないんですが、これまで集めて頂いている意見につい て申し上げますと、30に近い一方通行に係る意見が寄せられているんです。そのうちの5件 は一方通行の課題についての指摘をされている声で、5件だけ言うのもなんですが、 「結局不便」「無理である」「総意であるのか」、という類の話です。一番最後の「総意であ るのか」という話を出されてしまうと、総意はありえないので。賛成も反対もいますから。 その「無理」というのは、どれ位の程度の無理なのか、それがどれだけ無理を飲み込んだ ときに、別の側も何かそんなに良いことがあるのかという話が明確になっていかないと、 これは関連には不適ですね。まず、いま持っているスタンスに乗せる戦いになってしまう という状況はあると思うんですけれども。
⑩	当日その女性が発言した中にありましたのは、「長年住んでいて、交通事故はそこで起きて いない」ということです。私も毎日のように何十回と見ますけれども、やはり対面と言 いながらどちらかが早めに止まっています。他ではあんなことはあり得ません。逆に一方通 行の方が、スピードを出すのが出てくると思います。千葉や習志野ナンバーという人が多 いです。制限速度が30 kmなんですけれど、それ以上を感じる時が確かにあって、ナンバ ーを見ると「余所者だ」と。たまには都内ナンバーもいますけどね。
⑧	数的には相当少なく、⑩さんの掲載した一番多い状況でも平均すると30秒に1回しか車 は通らないんです。ものすごい車間距離で。ピークのない車の走行なので、そこはそこと して車の通行量からすると、相当少ないという判断ができます。
⑩	お互いが早めにどちらかが止まることの方が、よく目にします。
④	事故という話、また道路の利用者、違法駐車、そして公園を削らない方策はないか、歩 行者としての安全な通行、自転車の話もございます。ここには色々な話が重なるところ であることを、改めて確認できました。この現在の状況を、今回我々とするどどの辺に 明示してくるかを出していきたいと思います。ではAはまた後ほどということで、Aのブ ースは閉じさせていただきます。 Bのところの共有をしていきたいと思います。Bは3人で発信して下さい。
①	Bは『公園をどうデザインするのか』で、どちらかという池や水の話などが多かったで す。先ほどのアンケートにもあったように、来られた方は高齢の方が多かったので、平成 の初め位、20年くらい前に取っている水車があったんですが、それを皆さんよく覚えてい らっしゃいまして、『水車が欲しい』と。「なぜあれが回らなかったのか」という話になり、 流れが少ないから回らなかったと答えました。横十間川の「生物の楽園」のところでは上 からポンプで水を落とすタイプのものを使っているんですが、あのタイプであれば作れる という話と、なぜあれがよく回るかという中にベアリングが入っています。普通の水車 ですとそんなことは絶対になくて、ベアリングを入れてよく回るようにしています。ああ いうのであればできますという話で、水車の話が意外と多かったです。 「豎川河川敷公園の水が汚いから、ああいう風には絶対にしないで欲しい」という話もあり ました。もちろん汽水も、『汽水なのが良い』という話もありましたし、「淡水の池がな い」と。「淡水の池は干上がっている状態なので淡水の池を作って欲しい」「淡水の池には 深い部分も欲しい」という話もありました。全体的な話は、私からはそんなところでは す。

⑬	<p>①係長からお話頂いた通りですが、水に関しては「きれいな水」を求めていらっしゃるということでしょうか。汽水、買ってくる水、どちらにしてもきれいにしたいということ。緑の話はあまりなかったと思います。水を、現状でもきれいにすることはなかなか大変で、「掃除に手間がかかるものですね」という話をしたら、「そういうことだったらボランティアでも私たちがやります」と仰って頂いた方もいらっしゃったんですが、そもそもいらっしゃったのが4人ということで、だいぶ偏る内容となっています。それでも「私たちがやります」というご意見を聞いたのはすごく嬉しかったです。</p> <p>自転車は、外に作るんだったら公園に入れなくて欲しい、と。危ないとお感じになられている方はその4名ですが、いらっしゃいました。</p>
⑮	<p>補足すると、4名ですがその中でも色々な意見がありました。先ほど「きれいな水が良い」というご意見もありましたけど、その中の一人の方は「私は、この水路は見ているだけだから汚くてもいいし、いまのままにして欲しい」という方がいたのが、初めて聞いたご意見だと思いました。</p> <p>自転車についても、「自転車道を作るなら」という話もありましたけど、いまの園路を2レーンにして歩行者、自転車としても十分じゃないか、という話もありました。</p> <p>好きな話で言うと、「水路とサクラのセットが良い」という話に加えて、いま修正案と呼んでいるものは「残せるサクラは元気のないものも残す」という計画になっていますが、そうではなくて、「次の世代もサクラを楽しめるように元気のないサクラは更新した方がよい」というお話も頂きました。</p>
⑭	<p>「水面を見る」とはどういう意味ですか。</p>
⑮	<p>「水遊びをしないし眺めるだけだから、汚くても汽水のいまの水路で十分だ」と。さわらないで、という話です。</p>
⑭	<p>水面と日々が繋がっているというか、そういうことですか。</p>
⑮	<p>いまの水路の形で、改修しなくていい、ということです。</p>
⑧	<p>「暗渠にしないで」ということですよ。だから水が見えていけば幸せ、みたいな話。</p>
⑦	<p>景観ですよ、たぶん。</p>
⑮	<p>サクラのときは川のほうへ枝が伸びていく。それで風景が良くなるんです。人の歩くほうは枝がそんなに伸びない。どうしても川の方がぶつかるものはないから、そこへサクラが咲く。サクラが咲くのは一週間くらいなんですけどね。</p>
⑭	<p>余談ですが、水面に伸びていくのは、太陽の光が反射して向こうに太陽があるからだ、という人もいますよね。</p>
⑰	<p>そういう説もありますけどね。本当かどうかは分かりませんが。</p> <p>仙台堀川は水路があってサクラ、歩車道、道路があって、こちら側にケヤキ等があると、基本的にサクラは、光を求めて行くから空いている空間の方に（伸びて）行く。反対側に木がありますよね。そうすると光を求めてそっちの方に（伸びて）行くから、どうしても。花は、基本的に去年伸びたところにしか芽はつかないから、伸びているところの方にしか花は咲かない。だからどんどん空いている空間に行く。</p>
⑯	<p>ただ掃除が大変ですけどね、我々も。月1回、⑮会長の連合町会で工区割り、第2日曜日に我々が掃除するんです。</p>
⑰	<p>水路の掃除ですか。</p>

⑮	水路の中に網を持って入って、一応取るんですけど、なかなか取れるもんじゃないですよ。
④	中に入るって、水の中ですか。
⑮	違います。脇にこの位の通路があるんです。
⑯	そこから掬うんですが、取ってもキリがないんですよ。
⑮	サクラの花びらはきれいですけど、葉っぱが落ちるから。
⑯	秋になると、これからは他の樹木の葉っぱも掃除しなくちゃいけない。もう止めようと。
⑮	今度は川を半分くらいにしてくれると。その半分から自転車道路か何かにして、あの中を走る自転車と分けて広く。別々にいまの川のところに自転車道路を作ると、自転車がそこを渡らなくちゃいけないから、そこでぶつかる場合もある。緑道公園があるが、あそこは少し広くて歩行者と自転車とが分かれている。そうするとある程度人が来れば、自転車は自転車の方を走りますから。やはり離しちゃうとそこへ行くまでの、それから入る道がある程度決まっているんです。亀高公園から松本橋の間で、入るところが2～3箇所しかない。URのところと、お宅のところだね。そうするとそこから入った場合は、歩行者を越えて向こうに行って自転車に乗らなくちゃいけない。朝だと学生は焦ってスピードを出すから本当に危ないですよ。
④	またAのブースに戻った話になりましたけれども、交通は大切な話です。 Bのブースはどちらかと言うと池や緑という話ですが、生き物の話は絡んで出てきませんでしたか。
⑮	生き物は川ができれば後から付いてくるからね。誰かが、フナか何かを放流するから。
④	Bの上から何行目か、自然な池・水路のところで「水は外から生き物を入れるのではなく、自然に入ってくるもの」と、まさにできれば入ってくるんでしょうけど、こんな話はブースの中では、鳥や水生生物、カモもいますでしょう。そういう生き物に関わる話は、ブースのなかではありませんでしたか。
①	先ほどちょっと言ったようにカモの話は出てきたので、淡水池は深いところも作って欲しいと。
④	深いというのは、カモの生息というものに配慮して、と。
①	鳥、水鳥のために、というお話がありました。 ずっと固定していたのは女性4人ぐらいでしたが、あとは付箋を貼っていく方が多かったです。
④	アンケートというか、事前のものを見るとトイレの話もいくつか出ていたんですけども。ここにもちょっとトイレが出ていますけど、トイレ、水飲み、照明、ベンチ、こういう公園の便益・休息施設等に関わる話は。
①	トイレは「直します」と言ったら安心してくれました。ベンチの話まではいっていません。
④	他の方からはいかがでしょうか。 ちょっと話が飛んでしまいましたが、昨日・今日と⑥さんが小学生に意見を聞いています。ちょっと報告して頂いてよろしいですか。このBに大変関わるかな、と思います。
⑥	⑩さんからご提案頂いた、南砂町駅近くの『南砂子ども家庭支援センター』の方に付箋を貼って頂くと。第1回目の意見交換会のあとにご提案頂いて意見を集めたことをご報告させて頂きました。

	<p>その方々は0～3歳までのお母さん方の意見を、お子さんも頂いていますが、意見を頂くという目的で集めました。さらにその周辺の第二砂町小学校、第六砂町小学校、第七砂町小学校にも意見を頂きたいということで、意見の集め方というか「こんなことを書いて下さい」という案を頂いたので、まだ皆さんにお披露目していないんですが、意見を聴取するための作業を行なっています。本日、第二砂町小学校、第六砂町小学校には3年生以上の生徒の皆さんに、アンケートという形でペーパーをお配りしました。副校長先生を通じてお配りしています。大体1週間程度で書き終わるとのことなので、次回幹事会には、まとめられるかどうかは分かりませんが、成果が出てくるであろうと。第二、第六が今日行けたので、明日の朝いちばんで第七砂町小学校に行く予定です。</p>
④	<p>今日が一番最初にこの前の意見交換会②の参加者の年齢分布を見てもごそっと開いていますので、そういう意味では、⑬さんから頂いた人口分布で見ていく通り、あの年代もこの町に住んでいますので、こういう形で補完できれば。そうするといま話題になりましたAのブースよりもBのブースに係る意見が、子ども目線での意見が補強されると思います。Cもですね。それは乞うご期待で、どれくらいの返答率かは分からないけど。理解できると思います。</p> <p>それではBを終えて今度はCに参りましょうか。Cのブースご担当の方はどなたでしょうか。では順番にお願いします。</p>
⑥	<p>Cのブースの名前としては『みんなが幸せになる公園とは』と出ていたんですが、『公園をどう使うか』というテーマでブースを開催させて頂きました。</p> <p>その名前通りのご意見は確かに出てきましたが、あまり活発に出てきたわけではなくてですね。具体的に言うと4ページ目ですが、下から2つ目で左側に『Cブース』、上に大項目に『使い方』とあるんですけども、その中のことぐらいでした。具体的には反省会でも言いましたけれども、『土俵をなくさないで欲しい』であるとか、これは使い方というより交通の話かもしれないですけど、「誰もが歩きやすいというか、安心して歩けるように」ということ。これも同じですね、『わんぱく相撲』。後は上の方に具体的にあるんですけど、「マテバシイの木を残して欲しい」とのこと、ああいう木は子どもにとって登りやすいようです。色々な考え方はあるけれども、そういった考え方を持ってちゃんとやって欲しいというお話を頂きました。</p> <p>そもそも皆さんが思い描いているというか、共通して仰って頂いているのは、「37年間培ってきた仙台堀川公園の価値を守って欲しい」とのことです。仙台堀川公園という汽水が流れている公園であるとか、昔は水路だった、運河だった公園ということで、37年間培ってきたものを守って欲しいということと、この江東区、東京都のなかでも特色ある公園であり、運河であった歴史をもっと生かして欲しい、守って欲しいというのが全体の話です。</p>
⑩	<p>Cのブースは人数が少なく、固定でいらした方は2人で、あとから来られた方、途中で入って来られた方は2～3人いたということで、後から来た方の発言を考えると、たぶんBから回ってきたのかなというように。一致していますよね、仰っていることが。Bでも言って、Cにも言葉を残して去って行ったという感じかな、と思うので。本当に少数な意見しか聞けなかったんですけども、私が印象に残ったのは、人工的なものではなく自然のなかで、「自然なものに触れることが大事」と言われていた男性がいたんですが、それが印象に残っています。「アスファルトだけではなく地面を歩きたい」「緑がきれい」という言</p>

	葉がすごく残っています。
⑬	最初にいらした2人は40代前後くらいでしょうか。女性の…。
⑩	ここで言う30代2人、小学生のお母さんだろうという感じなので30代じゃないでしょうか。
⑬	<p>あの会場では比較的若い側というか、実際にお子さんがいるというような方が、わんぱく相撲を筆頭に話をしたところが、特徴的だったのかな。一つはBとCは対応しているのか、Bはハード的な表現なのに対してCは実際にそれをどう使っているかというところで、割と対応してくるのかな、というのが。「子どもたちが水に近づけるように」「ハゼを釣った」とか、そういうものは実際にどう使っているか、公園の使い方・過ごし方のところで、それが水路の話であったり水質改善であったりの話になっていると思うので、セットなのかなというところですね。</p> <p>使うという部分で言うと、私が印象的だったのは、子どもたちは城東公園と亀高公園を行き来して遊ぶので、車の通行量が増えると移動も危ないし、前の公園と連動して遊んでいることを考慮してもらえると良い、という話があったことが印象的でした。使い方に関しては、どうしてもお子さんにとっての使い方という意見は多いですけども、大人がどう使うかという声はなかなか上がりにくいのかな、というのは、もちろん子どものために優先されることはよく分かるんですけど、実際に大人の方たちが「自分にとってあの公園がどうなって欲しいか」という意見がもう少しあると面白いかな、と個人的に思いました。あとは使い方とは違うんですけど、言われたのは「知らなかった」と。意見交換会のこともですが、整備という話が進んでいるということも、この方は公園で署名を集めている方に聞いて2週間くらい前に知ったというようなことを仰っていて、「知らなければ意見さえ言えないじゃないか」ということを仰っていましたし、この意見交換会に関しても「子連れで参加するのはなかなかハードルが高いので託児所を作って欲しい」とか、本当に声を聞きたいんだったらそれぐらい考えてもらってもいいんじゃないか、というようなことで、そういうお子さんがいらっしゃる当事者の声として聞けたのは良かったかな、と。Aにあったアンケートの話というのは、そういう声が聞けていないかもしれない人への配慮というのも含んでいるのかな、と思いました。</p> <p>後はこの2人も、土俵がうんぬんというのものもあるけど、全ては公園が削られないことが前提だという風に強く仰ってはいたんですけど。その場で私はもちろん言わなかったですけど、公園は削られても土俵は作れるんじゃないかと個人的に思ったりしたので、公園を削らないことへの根拠になるのかな、というのは思ったりしたんですけど。そのへんは意見をどういう提言かは分からないですが、根拠にどの意見を使っていくかというところは、結構難しいところだな、と。「土俵をなくさないで欲しいから公園を削らないで欲しい」というのは、理屈として合っているのかどうか、私も分からないところがあるので、感情的な部分と理屈と、というところの兼ね合いはなかなかこういうときに難しいのかな、と思います。</p>
④	<p>土俵の人と「公園を削らないで欲しい」という人は同じ人ですよ。それはやはりその人のなかでは大変重要な関係性があるんですよ。</p> <p>⑤さんが見せてくれたこの表でいくと、30代が2人で40代が1人。この人たちが来たという感じですよ。</p>

⑬	多分そうだと思います。
④	このピークになっている15人くらいはAに行っちゃったかなと、そんな傾向があるような気が。いままで聞いていると。
⑬	後からいらした中には、年配の方もいらっしゃいましたが、真っ先にかけつけたのはそのお母さまたちでした。
④	自由にブースを選ぶというところで、ある人が幹事会の振り返りのときに「全部Aに行っちゃうんじゃないかと思ったけど、他のブースにもきちんと人がいたことが良かったと思った」と。つまりところ何が言いたいかというと、自分の意志でB、C、Dを選んだ人がこれだけいて良かったという意味においては、大変重要な意見の一つ一つだと思います。この使い方に関わる話では、ビオトープとかエコの活動をなさっている時に、色々な気付くことがあったと思います。質問や意見はありますか。
⑧	このビオトープはザリガニが多く、本来のビオトープからするとかけ離れているビオトープなので。ただ、子どもたちが身近な自然に親しむという環境としては、そういった問題点はあるにしても、非常に重要な場所だということです。その辺の考え方のズレはあるにしても生き物とのふれあいの場所が、例えば砂町地区に他にないとなれば、八ッ橋のところ、ガマ池のところできわめる部分は残していかなきゃいけないかな、という風には、僕としては思っています。
④	以前、キショウブのときに「あれは外来だ」と言われて、アメリカザリガニは外来ではあるけれども、生き物と触れられるという体験…。
⑧	⑮さんが仰っているように、どんどん入れられちゃうので。「ザリガニが良かれ」、と。もともと地域にいた自然のものではないので、それはどうしても入れられちゃうし、子どもたちが喜ぶと思って入れてしまう大人たちもいる。それはそれで徐々に良い方向に向けて行く必要はあるけれども、現状としての使われ方は⑨さんも発言されていますけれども、ザリガニに触れる、子どもの目が自然に向いて生き生きしている。地域の、ということではなくて、生き物に対する目や自然に対する目がちゃんと開かれているということの記憶効果はとても大きいと思います。
⑬	今年の夏に、親が子どもを連れて松本橋より向こうに川があるでしょう、シャワーのついているところ。ちょうどウォーキングをしていて、あそこで遊んでいるところを見ました。
⑧	ワンダフル水路ですね。
⑬	そのときも10人くらいいましたかね。日曜日でしたけど、夏休みというものもあるのかもしれない。子どもたちがはしゃいでいましたね。
⑧	あそこに水が流れると来ますよね。
⑬	それと。いまはもう枯れちゃっているけど、池ですよ。あそこでとにかく、平日の午後も小学校終わってからでも然りですけど、土日は子どもが相当います。竿を持ってザリガニを釣っていますよ。だから、子どもとすれば憩いの場所ですよ。
⑦	僕も孫がいますが、あそこで遊んでいますよ。一緒になって。
⑮	ああいうところの水路を上げてもらって。角のコンクリートがあるでしょう。その中で滑って頭を打ったりするといけないから、ああいうのをあげてくれて、水面のすぐ近くから入れるようにしてもらえると、本来ならいいんだよね。あれだけ何段も降りるでしょう。もしあそこで走って滑って転んで頭でも打ったら、角なんだから、あそこの中は。あれは

	ちょっと危ないと思いますね。
⑧	本当なら東陽町とかみたいに、あそこをワンド形式にして降りられるようにする。だから汽水で降りられるところと淡水で降りられるところ、両方があればベストですよ。せっかく両方のセットで多様な水辺があるので、そこを自然状態にしながら触らせていくことが、本来の親水ということだと思います。
④	いま言った「自然状態」とは何のことを言っているんですか。
⑧	淡水の池がもともと自然状態というか、例えば江東区という土地柄を考えると、汽水の流れがある。そこにワンドが形成されて生き物がいる。後は、後背湿地で淡水化されている池がある。そういったことも自然のものもある、というような。そういったベースを用意してあげれば本来の生き物たちもやってくるだろうし、それからそういうことに触れられる子どもたちもどンドン地域の自然のものを分かりつつ、遊んでいけるという風なことです。
④	コンクリートで防水で、テカテカのあの青いところみたいじゃなくて…。
⑧	作り方は別にして、しようがないにしても、いまみたいにカクカクじゃなくてちゃんと法面を形成しながら土で作っていく。いわゆる流れから引きこんでいくワンド形式のものを作ってあげれば良いという気がします。
④	ワンドというのは、盲腸みたいなものです。
⑧	流れからちょっと突き出ているところで、自然にもできるんですよ。だからそれを形作るということです。
⑩	余談ですけども、この話は前から耳にはしていたんですけど疑問に思っていましたのが、タヌキがいるというんですよ、公園に。今年に入って私も2回、自分のところで見たいんです。何人も目撃しているんですよ。私のところまで来るんです。
⑧	タヌキは実際に数年前に来たんですよ。疥癬にかかって、尾高のところで飼っていたんですが死んでしまった。あれは荒川の上流から歩いてきて、多分そこでパターゴルフか何か分からないですが、緑が途切れているところから江東区の中に入ってきて、そこでうずくまっていたという話です。だから23区内でタヌキがいないというところは殆どないです。どこでもいますよ。
⑩	実際に見てびっくりしました。
⑧	ハクビシンの方が多いですよ。
⑩	逃げないんですか、それは。
⑪	人間が大好きだからね。
⑩	最初はネコとネコのケンカだと思ったんですよ。ネコがどうも固まっちゃっているんですよ。そのうちに私のところへ逃げてきて、非常階段の下で固まっている。「おかしいな」と思って見たらネコじゃなくて「これタヌキかな」と。追い払おうとしたら噛まれたんですよ。足で払ったら逃げました。
⑪	公園のなかじゃなくてお住いのマンションに。
④	タヌキが住んでいるんですか、マンションに。
⑩	いえ、来るんですよ。
⑪	食べ物があるからじゃないですか。マンションの誰かがエサをあげているとか。
⑩	ご指摘の通り、変わった方がいまして、野良猫にエサをあげちゃうんですよ。ベランダか

	ら投げて。近隣から苦情が来るので防除しているんですが、それに来ているんですよ。
⑦	そういう生き物が寝ている場所は公園なんですか。
⑬	じゃないかと思っているんですけど。
⑮	草むらじゃないですか。マンションの、木の生えている部分。公園だとそんなにないでしょう。穴が開いているところとか。
⑯	元々公園にいるという話を聞いていたので、そのときは「よもや」と思っていたんです。
⑧	U字溝の大きいものに通ずるドブのなかを通路にして。
④	少なくとも仙台堀川公園はそういう生き物も一緒に住める公園づくり、としていたわけじゃないですもんね。
⑮	池を作る場合は一回セメントか何かで防水して、それから土を入れないと。どうしても水が溜まらないですよ。みんな地下水に入っちゃいますから。昔は出たんですよ、水が。地下鉄を掘ったので水を抜くから、どうしても水が溜まらないでみんな染みてしまう。
⑧	生き物がいる公園づくりを最初から目指していたと思いますよ。色々な微地形を作っていますよね。まずじわじわと溜まりやすいところとか、そういったところには色々な工夫をしながら一番最初の30年ぐらい前には、そういう形で考えていたという話は聞きました。
④	ビオトープをずっと研究されているからですが、パーマカルチャーや地形が植物にどう、植物からどういう風に昆虫に、鳥に、哺乳類に、という繋がりを考えながら作っていたということですよ。
⑧	初期はね。管理がそういう風な形になっていないので、ちょっと離れてしまっていますけど。ちょっと大雑把とかね。最初はそういう風に考えられていたようです。
④	そのメッセージまで子どもが理解するようになるのであれば、ザリガニ1匹の話ではなくて、大きな系という、環境の系ということを取り取りできる環境・公園になるというポテンシャルでしょうか。
⑧	この草地にはこういう虫がいるとか、そこら辺の考え方が体で分かってくれば面白いと思います。
④	先ほど水のことで、汽水と淡水という話が出ていましたけれども、「汽水においてもワンドでのビオトープ」というお話をされていましたよね。
⑧	仙台堀川公園に野鳥の島があるんですがあの前にヨシ原があつたりとか、そこから尾高の方へ向けて行って、飛び石状にヨシ原を作っている。ちょっと人工的ですが、そういったところもある。そこはもう完全に子どもたちが触ったり川の中へ入れたりする。一番上流のところは「やすらぎの滝」で、そこは岩があって、これは接着されているんですけども、そこへ子どもたちが入っている。30cmぐらい、ひざぐらいの深さです。
①	春に行くとボラの子どもをいっぱい取っています。カニもいますよね。カニはヨシ原のところにたくさんいます。
⑮	線路の下にもいますね。
①	線路の下にいるのは本当に大きいボラですね。
⑯	昨日、南砂緑道公園から亀高公園まで歩いたんですけど、その途中の水路でやはりこのくらいなの。
④	この仙台堀川公園の区間の、この水路ですか。
⑯	この水路じゃなくて亀高橋だから、曲がった右側ですね。

⑧	同じ川の流れて、浮橋のところは相当大きなものがありますよ。80 cmくらいの。
⑮	あそこは貨物の線路で、線路の真下だから深いんですよ。
⑧	大きいのが何十匹といるし、ウナギもいます。
④	こういう話ができる環境を大切にしようという人たちが集まっていたというグループがCだったというところなんでしょうけど、これができなくなっちゃうんじゃないかと、こういう話が継続してできるような環境づくりというメッセージですね。
⑧	こちらまで来ていないんですよだから、その環境が。この1.1 kmの区間でなかなかそういう環境が来れていないので、それまで連続して、そういった汽水の自然環境がこちらまでくればもっと豊かな水だしもっと良い、教育というか環境が作れるんじゃないか。
①	水路の大きな魚が魚釣り場のゲートで行けなくなっちゃうんですよ。あそこまでは行ける。
⑧	本当は仙台堀川（公園）全体で考えたい問題です。水質の話は。
⑮	水が流れないからどうしても溜まっちゃうんです。ゴミが溜まってつまったりするから余計に。それはしょうがないんでしょうけど。 さっき協力すると言ってくれた方が、網を持って浮いているゴミを取ってくれればいいんだけど、なかなかね。ただ役所に「汚れているから掃除しろ」と、苦情が行くだけなんですよ。
⑧	今回はそういったソフト面で、「意見交換会に来た人がいかに協力できるか」という出発点だと思う。⑮さんのところばかりが頑張ってるのではなくて、色々な人たちがそこに行って。こうしたい、ああしたい、と色々言う人も出てくるかもしれない。だけど自分たちで体を張って実際に「この緑を守っていく」「この公園を守っていく」とか、こうしていこうという意見と、という形で動き始めるいい機会なので、我々の幹事会はそちらの方向に向けるべきだと思います。
④	そういう意味では、Cは2ページに渡って、「たくさんページを使っている」と思っていたけど、なかなか良い声が集まっている。いま言って下さったような方向の提示の仕方というのを心掛けていくことに、価値があるんじゃないかと思います。ありがとうございます。ではDのブース、こちらが最後です。
⑳	Dのブースは付箋内容と書いてある内容が、誤字が多いのもあるんですが、ちょっと内容をあんまり反映していない部分もあります。おそらくA4にマジックで⑰さんの方でまとめた紙を書いた方がいいのかなと思っています。テープ起こしを断片的に取って入力したのかな、と思ったんですが。
⑤	これは付箋のものを入れてあります。
㉑	メモ書きした付箋ですかね。最終的にまとめた成果というのは…。
⑰	僕が皆さん話されている内容をメモ書きしていたものなので。
㉑	そのメモ書きの内容をまとめてA4の紙に書いているので、整理としてはそちらの内容をまとめて頂いた方がいいかな、という形です。
④	あのときのあれだよ。A3の大きいやつでしょう。
㉑	いえ。終わった後に別の会議室に行ったときにテーブルに並べた…。
④	こんな紙に書いたやつだよ。それってあるかな。
⑰	それも入っているということなんですけど、それがまとめたもので、それと付箋と一緒に

	なっているから「こんなことあったかな」という。
④	なるほど、混ざっているんですね。そこら辺も発表でフォローしながらシェアできる情報を頂けますか。
②①	<p>Dブースで当日もお話したんですが、大きく話題にできた話はふたつで、『自転車通行を中心にした交通』のことと『無電柱化』のことについて、というのがDブースで主に出た話です。来たのは4～5人くらいだと思います。</p> <p>自転車通行に関しては先ほど⑮会長も言われていた、要は自転車通行帯が東側に寄っているのでそこを横断していくこと、入れる場所が限られている不便さと、危ないんじゃないかという話と、「西側の車道は自転車通行できるんですか」「通行できます」という辺りの内容が、Dグループで話をした部分になります。</p> <p>それに関連して、道路は相互通行のまま自転車が車道を通ることは危ないので、自転車の安全という点からも一方通行にした方が良くないんじゃないか、と。「そういう考えがあるんだ」みたいな、そういう議論もブースの中では出ています。『一方通行にすれば安全性が高まる』というのは、自転車の安全性が高まるというところで、『車道に誘導マークを塗るのはかえって危険では』というのは、「相互通行だと危険」という、そういう話がDブースの中では出ていました。</p> <p>無電柱化については方式地上機器の置場や、『ソフト地中化』といって「変圧器を上にあげるやり方をして公園面積を削ることを減少できるんじゃないか」ということであるとか、費用が掛かりすぎるということに対して、「費用対効果の話も必要だ」といったような話が出ました。方式では「確かにそういう方式がありますね」ということで、メリット・デメリットまで踏み込んだ話というのは、時間の関係もあってその場ではできていなかったかな、と。⑩さんのほうから災害に対する安全性ということについて、浸水した場合の話と地震で電柱が倒れるということ、防災に対する安全性をどう考えるのかという話を、そんなに長い時間ではないですけども、そういった辺りもDブースでできたと思います。補足の方をお願いします。</p>
⑰	話題としては3点ぐらいの話でした。植樹帯自体が、配電ボックスというのかよく分かりませんが、地中化のための施設を置くために植樹帯が設けられているので、それをソフト地中化という風にして近隣の民地なり公園に置ければ、植樹帯は…。
⑦	これは同じ人が言っているかもしれないね。
②①	これは最初からいた人ですかね。
⑰	区議の正保さんがそういうことを仰っていましたね。自転車の話と、ゼロメートル地帯の地中化がかえって危ないという話と。
⑮	地中化すると道路が広がるということだよ、結局。地中化すると、いま電柱があるところのぶんが広がるということでしょう。
②①	電柱はなくなるんですが代わりに変圧器を歩道上に、いま植栽帯の中に置くのが区の設定としていて、その置き場所を公園の中や民地へ持って行ったり、照明の上に乗せたりと、無電柱化自体の方式としてはあり得るんですが、当然メリット・デメリットがあつて、そこまで踏み込んで、区で比較・検討した資料を用意しているわけでもなかったの、「そういった方式はあるよね」「色々な方式自体はあるよね」という共有までで、どれが良いかというところまでは、公園を削らないためにそういう案も考えたらどうか、というところで

	す。
⑦	「ゼロメートルなんだから地中化すべきじゃない」ないしは「地中化すべきだ」という意見交換はどうだったんですか。
⑪	正保さんは建設委員長をやっていたから、相当あちこち勉強に行っているんですね。トータルの、東京都の電線地中化は推進するという方向になっていますし、国もそうになっています。色々なところで研究をしていると見に行っているようです。だけど私個人が「ゼロメートルでは絶対に危険だ」と言ったらだんだん変わってきていて。私自身は大学で潮汐学を専門で勉強したので、それがなければそんなことは気にはならなかったんだろうけど。この会に入らせてもらったおかげで色々な方と意見を交換することができました。国土交通省の事務次官だった方とか、名古屋大学の先生と、色々な意見を聞いているんですけど。とにかく、江東区のようなマイナスゼロメートルでやろうということは。電線地中化のことは避けて通らないんですけど、とにかくスーパー堤防化しない限りはダメだろうね、と。本当に地獄だよとさかんに言っているの。関東大震災がなければいいかもしれないけど、関東大震災級が来たら本当に地獄になってしまうことを考えておかないと。いざ来たときに、3.11のときに海岸の人は本当に大変なことになって、何万人も死にましたよね。そういうことが起こってしまうので、本気で考えておかないと。
⑧	ブースの中でその話はどう議論されたかという話を聞きたいんですが。
⑦	そういう説明をされたんですよね、そこで。他の方の反応はどうだったのかな、と。
⑪	やはりお金がかかるんじゃないか、ということがかなりありました。
⑰	時間として割と、⑪さんが遠慮されていて最後にちょっとだけ持論を展開していたという感じだったので。それに対して質疑なんかあまりなかったように記憶しています。
⑦	どういう問題があるのかという、ある意味深刻さというのは、共有、理解されてないという感じなんですかね。例えば⑪さんのご説明を聞いて。ただ「そういうことがあるのか」という感じですか。
⑪	ちょっと脱線しますが、情報公開法で電柱地中化の、江東区の計画を引いてもらって一通り読んだんですが、マイナスゼロメートルのことは何にも考えていないんですよ。だからそういうことを考えないでやっていることはすごく危険なので、それだけは最低でも考えないと。そのためには絶対委員会をしっかりとって欲しいですね。
⑰	修正案のなかに車道、自転車空間、植栽、歩道とありますね。東西に1m幅の植栽ゾーンがありますが、「これは不要ではないのか」という話をされました。私の隣に座った人からそんな意見が出ました。
④	「そのために公園を削る必要はないだろう」というのは、後ろに繋がってくる意見なんですか。
⑰	全体の中での話ですね。あえてそこまで、いまの内容であれば植栽を置かなくても公園内は、という意見だと思います。
④	ご意見、質問等ありますか。 一つよろしいですか。 いま⑳さんがお話頂いた「複数の工法はあれども、メリット・デメリットの議論ができるデータの共有ができていない」というところで、今回の時にもそういう状況だからという話に受け止めたんですが。電線地中化に関わる情報の収集並び共有という部分で私たちも

	<p>これまでは回数を重ねてきましたが、なかなか情報が皆んなで共有できる状況がなかった。</p> <p>⑩さんからは常々ゼロメートル地帯における話を聞いていたわけですが、その地中化に関わる判断の合理性というのを区民と共有するためには、何がしかの選択肢はどんなものがあるって、どんなメリット・デメリットがあるだろうかということ客観化できる作業が今後求められてくる気がします。どなたでも結構ですが、いまの発言を聞いているとそういう課題があると思いました。如何でしょう。</p>
⑦	このレビューは通りあえずまだ続いているんですか。
④	すみません、その仕切りをしなくちゃいけない。 ではそういうことを感じたということだけにしておきます。
⑩	前回問題になって色々な質問を受けたときに、公園の幅や道路などありますけども、いまの無電柱化についてという話をしましたら、「すぐ近くまで来ているのを知らないのか」と言われたんです。それは私も知らなかったのです。
④	何が来ているの。
⑦	どんどん電柱地中化が行なわれているんですね。
⑩	だから近くまで来ているのに、「何で今更ここで話題になるのか」という言い方をされたんです。
④	そういう情報も共有した方がいいですね。
⑩	これは参考までに。私がそういう事実を知らなかったのです、逆に教えられたんです。「そんなことも知らないでやっているのか」と。
⑦	全体会議のときに女性の方が言っていませんでしたか。
⑬	もっと優先して欲しい場所があると言っていましたよね。こっちじゃなくて。
⑦	「なぜここなんだ。我々が住んでいる方が地中化は必要だ」という。その時に他も進んでいると。その中で「どうして、ここが選ばれたんですか。私たちがの方が」と。その中で「江東区の中で、既に地中化が行なわれているんですよ」という話を、併せてやっていたような気がしました。
⑮	商店街の一本先の狭い通り、ちょうど出口のところですが、電信柱が当たるんです。そこを地中化して頂ければそのぶん道路が広がると思っていて、「なぜそっちをやってくれないんだ」という話です。いまは技術も良くなってきたし、昔のトランスは大きかったけどだんだん小さくなってくるんだから、もっとトランスは小さくなると思う。何でも技術は発展してくるから、ああいう大きいトランスでなくても。前のトランスよりははずいぶん小さくなりましたよね。
⑧	<p>突然入れたシールアンケートですが、現状言葉のデータはたくさん集まったんですが数的なものあまり把握されてないということで、急だったので手作業で作ったものです。</p> <p>やり方としてはここに書いてあるように、一人3枚のシールを貼っています。一つの枠に2つ以上貼らないということでやりました。この枠というのは、仙台堀川公園のいまの整備案に関して『ここが良い』『ここが問題』という命題で、左側の3つが「ここが良い」、こうなるので良いと思っている人。真ん中から右側の3つが「ここが良くない」「ここが問題」というような設問になっています。それでここに貼るようになっています。『ここが良い』という設問の仕方が良く分からないという感じもあって、この2人がちょっと違うことをやり始めて、「そんなにわかりづらいかな」と思って、僕はBのブースにいるはずだっ</p>

	<p>たんですが、こちらでこの面倒を見ていました。</p> <p>できるだけ「帰りには貼ってってもらいたい」というつもりであそこに出張っていたんですが取り逃がした人もいて、全体で36人ですよね。幹事の方にも数名貼って頂きました。何人かちょっと分からないですが、一番多いのは32で『公園の面積が削られること』。その次が樹木、それから川の暗渠化、プロセスですね。ずっと見ていたところ、左側のゾーンに3つ貼っていた方は1人だけでした。たぶん先ほど、どなたかがブースで「車道が広がり、歩道の部分が確保されて安全だ」という話を一番最初に話されていた方がいて、その方が『電線地中化』と『伐採されて安全』に3枚貼って行かれた方が一人いました。あとは公園面積に関して貼った人も「この部分に関しては各論でOKだ」という話で、左側に貼った方もいらっしゃいました。</p> <p>強引に12個の枠に放り込むということをやっているの、「私の意見は入っていません」と言われる方もいました。一番多かったのが『白紙撤回』で、「あなたはどのようにして白紙撤回なんですか」ということを紐解きながら、「じゃああなたはここですね」ということで貼ってもらいました。</p>
④	張り付いていて良かったですね。
⑧	<p>後ろから「誘導尋問だ」と言われましたが、全然僕の意見を入れずに彼らの言葉の中で貼ってもらいました。先ほど出た、堅川の水質の話を読まれた女性がずっといて、「私の水質の話もないじゃないか」という話にもなりました。一応「ないです」と言ったら「じゃあ公園面積だ」と、ここに2人いたんですけど3個ずつ入っていったので無効票が4つになりました。本当は36票入っていたんですが、32にしました。</p> <p>数的なデータはこういう形で雑駁な、ちょっと子ども染みた部分もありますけど、そういうデータは出ています。</p>
⑦	設問と中との関係がちょっと分からない。例えば『車道が拡がり歩道部分が確保され安全になること』が良いと思うのか、問題だと思うのか。
⑧	ここは『良い』と思う。こういうことが『良い』と思うことが左側なんです。でも上に『良い』『悪い』と書くのは誘導的かなと思って、それはやらなかったんです。ですから安全であると思うことが『良い』と思うという意味合いで書きました。そこは分かってないので口で話しました。
④	シールが2種類あって、暖色系・寒色系という手もあったかもしれない。それをケアしてフォローして…。
⑧	でもそれで縦線を引かれるとそれもまた違う気がします。なので、来た方が全体数はそれほど多くないので、それぞれで説明しながら貼っていったという形です。
⑦	この結果、トータル102ですよね、これを足したら。102のうちの3割。何となく僕の感覚、区民の方がこういうところにプライオリティを置いているんじゃないかという感覚とほぼ合いますよね。面積を削ることが問題、樹木が伐採されること、川が暗渠化されること、計画策定の段階で住民の意見を聞いていないこと。そういうことが何人いるということでもいいんですよね。このまさに4点に集約されるだろうな、と。母数としては102だから少ないにしろ。
⑫	102÷3くらいの人数がやっていますから。
⑧	全部で36人ですよ。逃した人が10人くらいいたとしても…。

⑦	殆どやってくれたってことですもんね。だから非常に僕は、いままで漠然としていたもの、本来こういうようなやり方で。④さんがまさにコメントを、1000 いくつのコメントがあるじゃないですか。あれのウェイト化はされているんですけど。
④	<p>今回の調査の時に、まずは回答率の高さに驚きですね。配ったという物があり、やっていくという上手なやり方ができている。ただ、⑦さんがお話頂いた感覚的な話と冒頭で言って頂きましたけど、統計的な話に持っていくのはちょっと危険かもしれませんね。ただやった事実とこういう傾向だった、というところについてはこれだけのものです。そうは言っても 35 回集めた行政の方、並びに寄せられた声とも、私はフラクタルというか相似的な状況を感じ取りはしましたね。これは、私は言い切れないんだけど。というのは今日の話題の後ろのところのこのグラフと、安心・安全というところが多かったので、意見交換会②が終わってから安心・安全の中身の読み込みをしていたんです。やはりそうすると一方通行、その後ろ側には公園を削ってもらいたくないから。こういうことが読み取れるものですから、今回⑧さんがやってくれたこれと、この部分は大変近い状況にあるんじゃないのかな、と。これは推察ですが。役に立つのかなという気はしました。そういう意味で大変価値のある成果がもうひとつある。この2つを合わせて話をしていくのがより有効かな、という気がします。</p> <p>今日の進行表に戻ってもらってよろしいでしょうか。</p> <p>⑤さんからの投げかけにおいて、皆さんから既に「私はこう思う」というのが回覧されていますし、お読み頂いた人もいます。手元にも配られていますので、これを見ながらフリートークを進めていったらよろしいかと思えます。</p> <p>今日は『提言書への取り組みの共有』という、これも一つ大きな、重要な話題だと思うんですが、如何でしょうか。後ろにちょうど白板がありますので、皆さんがフリーにお話頂いた状況を私が書きとめていくという役割にさせてもらいまして。今日「フリートークをしよう」と言い出した⑦さんに、これからの時間を進めていくことをお願いできたらと思います。皆さんのご賛同と⑦さんのご了解を頂ければ。</p>
⑦	フリーなので口火だけということ。その前に質問です。前回の意見交換会の後をお願いした幹事任期を僕は半月、⑱さんは1カ月と書いてありました。そこはどうなんですか。
①	課長と話をしまして、任期は 10/31 まででやるのが筋というか、良いでしょうということです。最後が 25 日になっていて、色々やり取りをしていて結局結果として私は少し、修正や言葉のやり取りで伸びてくるのは多少止むを得ないと思うので、形として 10/31 で出来上がるのが良いと思って、私も課長の意見に賛同しています。やはり最初に決めた通り 31 日で一度、この幹事会はおしまいにするというようお願いしたいと思っております。
⑦	実質的に、運用の世界で 11 月にずれこんだとしても、書類上は 10/31 に提言書ができたこと、こういうことはあり得るかな、という理解でよろしいですか。
①	はい。
⑦	<p>分かりました。</p> <p>提言書はどういうものを作ったらいいのかということで、具体的なものはまず、内容的にはないんですが、構成は前に戻りましたが、④さんに作って頂いたものをベースにしてやれば良いのかな、と思っています。フリートークは、要は「何を書き込みたいか」を皆さんにお伝えして、それぞれがそういう意見表明をして議論する。この提言書では何を書いた</p>

	<p>ら良いか、何を区長に伝えたらいいかを議論できればと思って、提案させて頂きました。私はこのお配り頂いたところに、今朝徒然書いたんですが。僕の意見はこんなことかな、と。</p>
⑤	<p>資料⑥の 4-1 です。</p>
⑦	<p>予見というか、幹事会を通じて感じていたことは、いわゆる区の家。基本案、修正案ともども策定する段階で調査、いわゆるいくつかの複数案をもってそれぞれ検討して「これだ」というような過程を経ていないんじゃないかと感じがしてました。それを幹事会のなかで何回か、僕は複数案を作ったらいいんじゃないですかと。現状維持、いわゆる改修工事だけやる、今回の案、それから減らさない案と複数案を作って費用対効果を見ながら「これが良いんじゃないか」とそういう提案も、普通企業、企業というか私がいた会社はそういうことを経営・企画が作って役員会へ回るというプロセスを経ていたんですが、それが十分行われてなかったんじゃないか、という予見を感じながらね。第 2 回目の意見交換会でも、やはり私の予感はずいぶん拭き去られなくて今日なんです、そういった意味じゃもう 1 回、白紙にするというのではなく、区民の方の意見、専門家の方の意見を含めて複数案を比較・検討する、そのプロセスをしないといけないんじゃないかな、と。結論から言いますと、できれば着工時期を 1 年間伸ばす。その間私が言ったようなプロセスを、区がたぶんやりたかったんじゃないかと思うんですけど、いくつかの案を今回の区民のコメントを踏まえて比較・検討していくなかで、「これが良い」と。そういうプロセスを取ったらどうなのかな、という風に思っているんです。結論は区長に対して、いわゆる予見の計画前提となる、予見の再検討ないし見直し。それを 1 回やらないと、区民の方の理解はなかなか得難いということ。それからそのプロセスが欠如しているということに対して、区民の方の不満も大変多いと、私は感じます。</p> <p>ここにも書きましたけれども、土地利用を一度いじってしまうとなかなか戻せない。今回の先ほどの各ブースの意見で、37 年、40～50 年かかって作り上げたこの自然環境に、かなりの手を入れちゃうわけですね。入れなきゃいけないかもしれないけど、もし入れるのなら「ああそうか」「やむを得ない」という、区民全員というより、少なくとも過半の人たちが「そうだよね」という納得性のあるものでないといけないと思うんですよ。納得性が得られそうもないと思ったらどんどん先に延ばしていく。それが区民の生活に甚大な影響を及ぼすのであればタイムスケジュールを考えなければいけないんだろうけど、それもなさそうだし、1 年延期してもない。これを更に延期して、何かデメリットがあるかということについて、それも僕には感じられないので、いまのような延期という線をプロセスの、計画策定段階のプロセスをもう一回見直すと。それを提言できたらと思いました。皆さんどうお考えでしょうか、というところです。私の口火は以上です。</p> <p>どうでしょうか、好きなように何でも言ったらいいと思います。</p>
⑮	<p>私は（北砂）四・七町会なんです、所帯数は 1,700 なんです。1,700 という大体夫婦でいますからその倍で 3,400 人。それだけいる、所帯が住むなかで砂町 4・7 町会に来ている人は何人かという 10 人いないですよ。大体の人は「これで良いんじゃないか」と思っていた人もいるわけです。だから行っても「賛成でこうしたい」と思っても、反対意見が多くて 1 回目に来たより少なくなっちゃったという事態が、怒号みたいになってはつきりしないもんで、2 回目のときには数が少なかった。行っても自分の意見が通る・通ら</p>

	<p>ないじゃないけど、そこで頭に来て行かない。行っても無駄から。そういう人がいたから少ないんだと思うんです。普通だと2回目は多くなって、段々多くなっていくなら素晴らしいですが、減ってきたということは僕としてはね。町会の人に聞いても、やはり役所が一生懸命研究してやったことに対しては良かったんですが、それは皆さんの意見で「公園が小さくなるからダメ」ということで。私も公園が小さくなって道路が広くなると、公園まで行くだけの距離が、年寄りが入って行く。歩いて信号が青になったとき、亀高橋のほうは信号機が付いていますがね。それから中が狭くなって、聞いた話では中に駐輪場がない。公園に遊びに行くのに自転車が置く場所がない。いまもないですが、ゴミ置き場のところに自転車を置いたりできるけど、新しくなると狭くなって駐輪場がない。そうするとなくて、道路が広くなっただけに横断するのに、見てわかるように、西のほうから来たときに道路へ上がってくるんですよね。上がってくるから、そこで信号機が赤になった場合は止まって、下から上がってくると2mくらい高さがあると思うんです。下から上がってくると滑らかですけども。そういうことでそれだけの距離があるから。そこで道路があって、公園に遊びに行くのが大変だという意見を聞きました。</p> <p>うちの町会だけでもこれだけの人数がいて来ないんだから。それだけの関心がないと言っただけは悪いけど、あっても意見が通らないとか、そういうことがあったと思います。良い・悪いもあるし、私なんか考えると小名木川を見てもきれいになった。あれを皆さんに意見交換したら、「何でこんなことをやるのか」となると思う。川を狭くして水はけを良くしたときに。けどいまはあそこでカヌーをやったりしている。</p>
⑦	すみません、提言書に書き込みたいことがあればね。
⑮	<p>提言書は一度出したんです、他のところで。目標ができたから提言書なんですよ。できないでやると私も一応「いまのところ中途半端でこれでも一部なんです」と区長に言ったんですが、完成したものは、なかなかできないと思う。ある程度作ったらこういう意見で大雑把な意見を言って、「公園は、なるべくそのまま」「道路はいまのままで良い、それは何%の人が言っていましたよ」と。それに対して「公園の木は伐採しない方が良いとか」、そういうね。それから道路の中でも、歩行者と自動車で3～4mを6mくらいに拡げてという提案でやっていけばいいと思う。何か一つくらい話したんだから提案書に入れて、最終的には1年くらい伸ばして皆さんに聞いて、1回確認してやったら如何でしょうか。いまのところはみんな「反対だ」となってしまうとね。私はある程度でも、少しでもできるようなことがあれば、提言書に入れても良いと思うんだよね。9/27に「まちづくり委員会」があって、その時に提言書を出したんですが、それはベイネットのテレビに出たと思います。</p>
⑦	最後の方で「提言書で具体的なことが書き込めればいいけど、なかなか難しそう」という感じですかね。
⑮	ある程度できたものだけ入れて「こういう意見がありました」と、それで提言書にする。10月で終わってしまうんだから、「いままでの意見交換はこうでした」ぐらいのものだと思う。
⑦	いわゆる意見紹介ですね。「こういう意見がありました」という。
⑮	あまりはっきりしたことは書けないでしょう。そう思うんですが。
⑦	まず公募委員の意見を聞いてもいいですか。意見というか希望、思いを。⑩さんどうです

	か。
⑩	<p>今回幹事会に入らせて頂いて一番感じているのは、区の職員の方々が、幹事会ができる前に実は1回私はお会いしているんですけども、そのときとこの幹事会では全然印象が違うということです。とても区民の側に立って頂いているのをすごく感じているわけなんです。前は全然聞く耳持たず、という風で、こちらが一方的に話をして全部シャットアウトという感じでしたが、一緒に考えて頂いているということで、きっと提言すれば見直しをして頂けるんじゃないかという期待を持っています。なので提言書はとても大切だと思っていて、結局、区の方も色々調査を十分していないというのもあるかもしれないんですけど、決めかねていることも沢山あると思うんですね。それを「区民の意見によって決めたいという気持ちもあるんじゃないか」と思って、すごく前向きな意見なんですけどそんなことを感じているわけで、提言書に書くことは大切だということと、先ほど⑦さんが仰っていたように「一度作ってしまうとそれから変えることはなかなか大変だから」というのももちろんそうなんですけど、やはり時代とともに求められているものというのは変わってくると思うので、公園自体が変化していてもいいんだらうと思います。ただ公園の幅と道路の関係というのは、そこだけはそうそう変えられるものではないので、そこが一番大事なんですけど、中身に関しては変化していても良いと思っていますし、住民の皆さんの協力やどのように運営していくかによってできることも、どんどん増えていくでしょうし、色々な形に公園が変化していったら楽しいなとは思っています。とりとめのない感じでしたが、一番は「公園に何が求められているか」というのを、きちんと提言書のところに書かせて頂いたんですけども、その辺をよく話し合っただけで決めていったらいいのかなと思います。</p>
⑦	<p>提言には「具体的にこういうことをやって欲しい」とか、具体的なものは書き込めそうですか。ないしは、僕なんかは書き込めないでそこまで議論できていない。だけどいまのままじゃ区民の納得が得られない案ですよ、と。だから延期してみんなで色々なことを、将来のことを含めて考えましょうと。こういうのが僕の提案なんですけど、どういうことかと言うと具体的なことが書き込めない。その点についてはどうですか。</p>
⑩	<p>いま意見交換会を通してはつきり書き込めることは、「公園面積を削らないで欲しい」という意見が大多数であることで、そのことと、交通関係ですか。そこをきちんと調査して欲しいというような要望は書けると思います。そういうような形で出して、結果はその先なのかな、と思います。</p>
⑦	<p>一つのポイントが「公園は削らないで欲しい」という意見の人が多かったですよ、と。だから交通とかもっと調査して下さいと。 ⑧さんは公募区民と専門家になるんですよ。区の方とコンサルの方は一番後にまわしていいですね。</p>
⑧	<p>幹事会として提言書をまとめるとすればもともと出てきた1000の意見、その前に説明会が2回開催されているときの意見と合わせて1000の意見と、それからこの幹事会の中で話し合われたこと、あるいはこの幹事会の中で知り得たこと。プラス、我々がというか開催した意見交換会の中で出てきたこと、これをベースにするしかないと思っていて、皆さんがここで話し合えない意見を持っていたとしても、それは提言書に書き込めないと思っています。それでいま分かっている1000の意見は確かにあって、コーディネーターとして④</p>

	<p>さんがまとめられたというものがある。幹事会の中で知り得たことは、すごく重要なことであって、上位計画である『みどりと自然の基本計画』というものは頑然としてある。それは区民に対して公開しているもので、公園整備の約束事であるという風な大事な計画で、そこには「公園整備の際には住民のきちんと聞いて計画する」というような形で書いてある。それから仙台堀川公園に関しては「これを維持していく」という考え方が書かれているところがあるので、実際にはそういったことに対して、そのプロセス、要は「住民意見を聞く」という最初のプロセスがなかったんじゃないかな、と。</p> <p>それから道路計画と公園計画がバラバラにされていて、今回の整備案がスタートするにあたる問題点である老朽化と、自転車・歩行者の錯綜と防災、この3つの問題が解決するにあたって、道路計画がまず作られて、それによって公園が削減されるという風なプロセスで、実際に公園面積を維持するという風な約束事、上位計画で書かれていることに関しては、そうなったときにそれは「まずかろう」という風なことで、公園面積を守っていこうというやり取りがなされていないというように、僕はこの幹事会の中で見受けられた。それに対して僕はこの話を何回もしたけど、「違う」という話が全然出てこなかったのだから「そうだ」という風に思ったし、この間の意見交換会でも「なぜだ」という話になったら⑩さんの方で「歩道確保をするためにこういう計画を立てた」という話がスタートで、それで公園がこうなっちゃったという話があるので。幹事会の中で知り得たこととしては、僕はそれがあるがためにいまの整備計画案はダメだろうと。なされるべきではないということが僕的には結論です。皆さんが同意するかどうかは分かりませんが。</p> <p>意見交換会の意見というのは、先ほど⑩さんが仰ったように「公園面積を削って下さい」というデータもあるけど、「公園面積を削らない」というのが来た方の、1回・2回に来た方の大半の意見を示していることもあるので、実際には先ほどの意見からすると、いまの整備案に対しては白紙に近い状態で、1回元に戻して、3つの問題点は確かにあるということなので、老朽化、公園内の自転車・歩行者の錯綜、防災という、この3つの問題点をベースに考えていく。そこで整備案を作っていく。意見としては白紙という風を書くけど、現状維持、現状から考えるという言い方でもいいんだけど、一旦そこに戻して考えるということからスタートする風な意味で、提言してはどうかと思っています。</p> <p>プラス、考えるにあたっては、やはり区民意見をきちんと取り入れたプロセスと、設計段階にもきちんとプロを入れていくということを提言のなかに入れつつ、もう一回考えてもらいたい。時期的にはやはり1年は伸ばさないとダメだろうと思っています。</p> <p>これは個人的な意見ですが、実際には歩行者と自転車の錯綜という問題に関しては、道交法では自転車は車道を通ることになっているので、実際は中で走っているスピードのある自転車は車道側を通すべきだし、歩行者に関しては、折角ある仙台堀川公園のなかを誘導していく考え方で整理をつけていくということが道理だと思っている。そこは全然議論されていないし、本来あるべき姿だと思う。</p>
⑦	最後の点は工夫の一つだね。
⑧	その一つです。でもあるべき考え方で、当然あるべきことが。最初の整備案の、元々のいまの整備案の原点は「自転車レーンを作る」という、⑩さんの考え方、車道側に自転車レーンを作るという考え方でした。これは車道側に自転車を逃がすという考え方だったけど色々な反対意見もあるし、「1日の交通量が500以上あればレーンを作らなくちゃいけない

	い」なんて道路構造令にもちゃんと書いていないわけだから、それを取った考え方でもいいんだけど。実際には公園のなかに自転車レーンを先に作ったわけだから、これは考え方として僕は間違っていると思う。だから自転車は車道側、なかに歩行者を逃がすという仕掛けと、ソフトなところでちゃんとやっていく。時期的な努力も必要だと思います。
⑦	いま例えば、上位計画の中で「住民の意見を聞いて作らないといけない」というものはあるけど、今回の計画についてはこのプロセスが取られていないんじゃないか。まず公園と道路の整備が、それぞれ2つのことが一体化されて、むしろ道路が「道路ありき」というか、まず道路の計画があって、それに従って公園の整備計画が作られていったと。これは事実そうなのか、後でもし答えて頂くのであれば、区の方から聞きたいことなんですよ。
⑧	この話は何回もしているの。「違いますよ」と聞いていない。
⑦	これは質問も入っているんですよ、区に対する。僕の質問は「複数案を検討されましたか」という。されたというならそれでいいし、されていないならそれをぜひ教えて頂ければと思います。
⑧	上位計画というのは、区が一番の憲章から落ちている中長期計画なんだけど、公園整備というのは直近の『みどりと自然の基本計画』が上位計画なんだから、その約束事を守らなきゃいけないという考え方です。
⑩	意見交換会のプログラムを④さんに作って頂いて、色々バージョンがあって、全体の働きのこの図がありますよね。この中でどこまで実際にどこまでたどり着いているのかなというのがあって、現状で言うと「何を皆さんが課題とと思っているか」という抽出までで終わっていると思っています。それでコンサルさんが「この成果、この状態で設計作業をして下さい」と言っても、コンサルはコンサルで困るだろうと。一応僕もコンサルの仕事をしていますのでそういう頭もあって、事前に皆さんにお渡しして、意見交換会当日にもお配りさせて頂いた、この資料⑥で言うと10-3~5までが私の方で考えた検討です。計画自体に色々な要素が盛り込まれすぎていて、議論する場が全部一緒くたになってしまっているから、なかなか色々なことがよく分からない。色々な要素を少しわけてちゃんと検討してから、もう1回意見交換会③をやった方が良くないですか、という。これは作っているときに、割と流行りの言葉で言うと付度しています。いまある修正案に対して則って、こういう検討作業が必要なんじゃないか、ということです。そういう案を考えて提案しました、という形です。これはこの前の意見交換会の前に作ったものです。
⑦	出して頂きましたよね、メールで。
⑩	これは意見交換会の前に作ったんですけど、意見交換会が終わってぼんやりしていたときに「意見交換会の場合には、いまの仙台堀川公園の改修計画に割と反対の人しか来ていない」というか、そうだったんです。私や⑧さんは去年からずっと反対の立場で区役所とお話をさせて頂いて、僕が住んでいるのは住吉なので仙堀とは離れているところなんですよ。地域の方としては地域の方として「この計画が必要なんだ」という、そういう意見なり必要性があるんだろうと何となく思っていて、あまり私が「緑が好きだ」ということだけで言ってもいかなものかな、という思いは若干あったんです。実際に2回の意見交換会の場で、場の雰囲気もあるのかもしれないですけど、この計画を積極的に推し進める人がいらっしやらなかったように思うんですよ。そうすると、もともとの仙堀の計画のプロセスの中で大規模公園リニューアル会議という提案がされている、この資料がありま

	すよね。この課題と解決策のところ、どこかで誤りなり何かがあるんじゃないかという風に思うようになってしまったんですよね。
⑦	そのリニューアル会議とは、どういう位置付けの会議なんですか。
⑰	どういう位置付けかは分からない。平成26年2月に出たものです。
⑥	副区長が座長になっていて、当時は部長クラスが。
①	政策系部長ですね。
⑦	要するに区のワーキングプロジェクト。アドホックに作られた…。
⑥	区の中でオーソライズを取るというものです。大規模公園というのは具体的に言うと5ha以上で、若洲公園であるとか堅川河川敷公園といったものを指すんですけども、そういったことの事業を行なうためには、大規模公園リニューアル検討事業検討委員会を…。
⑦	経なければいけないんですね。
⑰	時系列的に言うと、平成21年度に福山コンサルタントが仙台堀川公園及び沿道整備調査設計委託という委託業務をやっていて、その成果をもとに区役所内の中の大規模公園リニューアル会議でこのフォーマットができて、これをもとにプロポーザルをされて、プロポーザルの結果、大日本コンサルタントさんが事業をやっていて。ここの課題の設計、課題の把握とそれに対する解決策の、組み立てでもないけど、どうだったのかなという風に。
⑦	それはたぶん⑧さんがご指摘されていた、いわゆるプロセス、区民の意見を上位計画、「区がこういう風に進めますよ」と、緑化やまちづくり、マスタープランみたいなものがある中で、その中にはきちんと「区民の意見を聞いてやりますよ」と書いてある。そのプロセスがひょっとしたら取られていなかったかもしれない、ということですか。
⑧	それは区の中の話で、僕の話とはちょっと違う。
⑦	区の中で、大規模公園リニューアル会議…。
①	「これはこういうような形で色々検討していきますよ」という、最初に区の中で合意を図るところだったので、細かいことについてはそんなに話をしていないわけではない。
⑦	そこで「いきましょう」と区的意思決定が決まりました。その次に「区民の方はどんな風に考えるんですか」というので意見を。
①	その時点で意見公募を、平成26年にしているんだよね。
⑥	そうですね。区報でアンケートというか。
⑦	それは区報に流して。
①	そうです。ですので、説明会をしていないのは事実です。
⑰	区報に流していらっしゃるんですけど、そこでは「仙台堀川公園を整備するので意見を下さい」というような書かれ方でしたか。
⑥	地図を載せて「ここからここまでやりますので意見を下さい」というような、すごくシンプルな形です。
⑦	道路は書いていない。
⑧	何も書いていない。
⑦	だから僕は公園整備計画とは違う、と。「公園道路整備計画」だと、そもそも名称がおかしいと言っているんだけど。
⑧	それを意見収集だと言っているが、意見は出せないですよ。
⑦	なるほど、分かりました。時間がありますのでどうぞ。

⑰	という風に思い至っています。
⑦	そうすると⑰さんの10-3からのご提案、結論から言うと、いま修正計画は来年度、秋に着工みたいな計画らしいですが、来年度やるということですよ。実際にする工事に基づく計画については、このプロセスを経て決めるべきだ、再修正案化すべきだというご意見ですね。
⑰	そうですね。いくつかの項目に、僕が重要だと思う項目をピックアップして、区民と合意形成するためには、いまある修正案をベースにしているけれどもそれを説明して意見交換会のようなものをして、再修正案に向けての提言をするみたいなことをして、それで意見交換をするというのが、本来の意見交換会の役割だったんじゃないか。前回の意見交換会は結局、3月に出された案の説明をしているわけなんですよ。区民から当日取られたアンケートを読んでも、「一方的に計画の説明をしているだけだ」という意見があって、それは区役所のスタンスと、区民でフラットに参加した人の頭で抱えているイメージのギャップがあるから、①係長が言っていた「区役所としてはあの案をそのまま説明するのが誠意であって、変に作業を進めないことの方が正しい」というスタンスでいらっしやったので、それは区民から言うと誤解を招きやすい形になってしまっている。本来のというか、このプロセス図に従って何かをやろうとすると、そういうことが、こういう…。
⑦	そうすると、スケジュール的には説明書、意見交換会の時に配布された中で3月までに、提言書を10月に出して3月までに再修正案を作って、平成30年に改修工事になっていますよね。このプロセスを取ると3月修正案、要するに計画を1年遅らせるとか、そういうような風になるんじゃないかと僕は。具体的になると。そういうことも含まれていますよね、⑰さんのご意見は。
⑰	それもあって一度、「他の事業との関連性はあるんですか」と。
⑦	ご質問されてね、「ない」と。
⑰	他の事業との関連性が特にないのであれば、区の中だけで処理できる話なわけですよ。もしかしたら来年度予算案に組み込まれているかもしれないけど、予算案の修正は区がやればいいだけの話だから。であれば、半年なり1年なり伸ばしてやらないと。
⑦	分かりました。⑪さん、すみません。何を書き込みたいか。
⑪	こういう会を持ったことに対して評価したいというのが第一点。ここで評価しないと、今後一切こういう面倒なことはもう区はやらないとなるので、これはすごく大切なことです。ここでどういう答えが出ようと、区にとっても住民にとってもプラスかマイナスは別として、こういうことは今後必ずやって欲しいというのが第一点。 第二点は、貴重な意見交換会を2回やって、その殆どのデータはとにかく「道路の拡張はしない」「公園は削ることはしない」「大きな木は切らない」。これに尽きていると思うから、これは書いて欲しい。 第三点は、情報公開法で「江東区無電柱化基本計画」という、ここにいま持っていますが、このなかで、最大の特徴であるゼロメートル地帯のことは一切検討されていないとしか僕には読めない。散々やったんだけど書く必要はないから書かなかったというなら別ですが、そういうことを考えて、江東区無電柱化専門委員会というのを立ち上げて十分な検討をして、「江東区でも大丈夫」ということの結論が出てからやって欲しい。
⑦	今回のプロセスは評価する。「道路の拡張はしない」「公園は削ることはしない」「大きな木

	<p>は切らない」という意見が多かった、殆どですよ、と。電柱地中化についてはゼロメートル地帯のことを勘案して検討委員会を作って、その是非を今後とも議論すべきだ、ということですね。</p> <p>⑩さん、どうぞ。</p>
⑩	<p>私は、全くゼロでありましたので。過去2回の説明会も出席しておりませんでした。たまたま行政の方から、町会・自治体と、「あなたのところは目の前だから」という単純なお話で引き受けたわけなんですけれども。正直言ってこんな大変だとは思っていませんでした。それと同時に第1回の意見交換会なり特に感じましたのは、こういう会は現在では評価できる方はいらっしゃるし当然なんですけれども、もっと最初に、前の段階であるべきじゃなかったのかな、と。いまさら言っても遅いことですが。それが感じた一つですね。</p> <p>私のところで2回、係長に来て頂いてご説明を受けております。最初の案と3月の説明を受けたんですけれども、その時に「何人出られますか」という質問があったんです。ということはお持ち頂く説明資料の準備ですね。それで平日ですから、私と管理組合の理事長と副理事長、それに工事が始まると目の前ですから管理人はそれなりに知っておいた方がいいだろうということで、4人でお聞きしたんです。資料を2回に渡り、最初のものとは修正案をいまだ持っていて掲示してはありますが、そこで色々と疑問を持つ、興味を持つと言いますかね、いました。1、2回の意見交換会には、要はこの説明会に興味を持っているのが3人しかいないんですよ。先ほど⑩会長のところは「人数の割に少ない」という、私のところは147戸ですからスケールが違いますが。そういうなかで感じたのは、やはり「お上がやるんだからしょうがないだろう」という頭が強いんですね。私も最初はそう思っていました。3人出席する者がそれなりに、全面反対じゃないんですけど部分的に反対なんです。ですから「署名をしました」とはっきり言いました。そういう状況なんですよ。だけでもそのうちの1人が8月の議事録を見たというんですよ、幹事会の。インターネットで見れるんでしょう。それで「あなたの発言は少ないけど良いことを言っていますね」と言われました。「何でしたかね」と言ったら、「何でこの時期にそういうことをやるんだ」、「なぜ」ということを私もこだわっていましたが、あれが出発点というんですよ、その人は。ただその説明もなしに「こうなります」という説明会だった。「1回目の意見交換会は皆さんでやって下さい」だから、「何だ、あれは」と。こうやるから、そういう意味の交換会だと思っていたと思うんですよ。</p> <p>状況からするとそういうことと、掲示してあります資料。パースと言っているのかどうか、全体像を見ると、本当にこざっぱりしているでしょう。明るくは見えるけど、いまみたいに鬱蒼とした感じはうかがえませんか。「これがこうなるのか」という、極端にあのパースだけを見ると感じちゃうわけです。現状はものすごく高い木が鬱蒼としているのに。その時に私が言ったのは古風を選ぶか、モダンを選ぶか。そう解釈するしかないね、と言ったんですけれども。それにしてもあまりにも極端すぎると。結論は、要はさわるべきじゃないだろうという意見なんですよ。</p> <p>これは内情ですけども、交換会で聞いてみますと、先ほどの⑦さん、⑩さんも集約すると同じことだと思うんですが、着工に拘るんじゃないかと、「それなりにちゃんと検討したのか」という声が上がりましたよね。そういう検討が必要なものは時間がちょっとかかっても、私の考えは1年伸ばしてとかじゃないんですが、区切りというものはあるでしょうけ</p>

	ど、そういう検討は必要なのかな、と思います。
⑦	「区切り」というのは、どういうことですか。
⑯	半年後とか1年あとの着工でいいじゃないか、という。そういう期間的な問題じゃないですけど、再検討というのか、区民の皆さんが言っているように「ちゃんと検討したのか」という問題ですね。ですから話題になっているところはそれなりに要検討ということかな、という思いです。
⑦	要するに色々なところで指摘されてきた、ないし、浮き上がってきた問題点については、課題を十分検討してないような感じなので十分検討したら、と。その期間については半年なのか1年なのか、そこは言わない。こういう感じですかね。
⑯	「ご要望に沿って検討しました」という話じゃなくて、それらを念頭に置いて検討のうで「これが最良の計画だ」というもので望めれば良いんじゃないかなと思うんですけどね。
⑦	では次に⑬さん、よろしく。
⑬	<p>提言書というのは、幹事会としての数カ月の成果のアウトプットとして何をどう伝えるかという話だと思うんですけども。色々課題があることは、もともと分かっていた課題も今回の諸々を通してのものもあるんですけど。まず提言なり報告なりを持って、それは何のためにやろうとしているのかということが、我々は何をすべきなのかを冷静に考える必要があるということがまずひとつ。それには私はやはり、まずきちんと、ある程度正確性を持ってここまでの成果を次に引き渡す。報告という言葉はその前に適していると思いますけど、それをきちんと、漏れなく次に繋げていくことは最低限やらなきゃいけないことだと思っています。</p> <p>その中で、課題なり何なりということについて指摘をすれば大きく分けて2つあると思っています、ずっと話に出ていますけど、一つはプロセスの問題ですよ。上位計画にあるという話もありましたけど、そうでなくたって公園・まちづくりにおいて区民の声を聞くというのは非常に大事なプロセスであって、それが本来もっと先にあるべきだったことがなされなかったということの大問題と、とはいえ「やってしまったものはしょうがないから改めてやりましょう」というのが今回の意見交換会だと思うんですけど、それをやってみても、やはりそこのはき違えはかなり大きいというか、その結果、折り合いがつかない部分も結構あるんじゃないかと思うので、そもそもそのプロセスなり議論における体制、これまでもそうですし、これから先どういうプロセスなりどういう人が議論に関わっていくべきなのかという部分への、何か今回の3カ月を通して我々なりに考えたことです。もうひとつは計画そのものですよね。今回結局、私も割と最初は白紙というか、「修正案はいったん置いておいて」という話なのかなと思って序盤はやっていたんですが、どうもそうではなくて、修正案というものをある程度念頭に置きながら、それに対して何か意見を言っていくという形にどうしても後半はなっていたので、結局出てきている案はそういう案というか、修正案に対する反対意見が結果的に多くなっているかなと思うんですけど。今後も修正案というものをベースに進めていくということを我々がいったん受け入れたとするならば、その計画の内容に対する課題点を客観的に整理して伝えることがひとつなのかな、と。</p> <p>あとは伝え方の部分。「何に重きを置くか」というところですけども、一つは住民意見として、客観的事実として集められた声。我々が何か解釈を加えたりしない、整理整頓はす</p>

	<p>るまでも我々の考察が入らない形での、区が考えた整備案が区として何らかの根拠を持って作った整備案だとすれば、それに対抗する形での、住民側の反対なりの根拠というところなのかな、と思うんですけども。正直、皆さんもお察しの通り偏った方の参加であったり、それは何で偏ってしまったのかという問題があるにしても、賛成側が本当にどれだけのいるのかというのは我々は正直見えていない。このまま「これだけ反対が多いんですよ」と出したとしても、突っ込みどころは結構たくさんあると思うんですよ。要するに、我々が区に根拠を求めてきたように、区が「反対なんですよ」という意見に対して「何人の声なの」という風に突こうと思えば突っ込めちゃうと思うわけですよ。統計的情報としては、最後に何とかして何か数値的な情報としてシールアンケートをやったりとかというのは、たぶん少しでも客観的な裏付けを持たせたいからという意図もあったと思うんです。お母さんたちが「知らないですよ、みんな」と言っていたことが真実なんじゃないかと思っていて、これも私の仮説でしかないんですけど、そういう意味で、本当に行政側がぐうの音も出ないような客観的根拠にこの意見がなりうるのかというのは、結構突っ込みどころがあるなど、私は客観的に見て思うんですね。</p> <p>一方でロジカルな部分はともかくとして、マイナスもあればプラスもあるんですが、感情的な部分や思いみたいなものは相当集まったと思うんです。区民はこれだけ公園のことを思っていて、具体的にはこういう意見があって、という、もう少し感情や思いで訴えかけるという手法もひとつあるのかな、と思っていて。それは、それを受け取った行政側がどう捉えるかという賭けでしかないんですけど、ロジカルに攻める部分と感情で訴える部分というのは、どちらが良いかではなくて両面なのかもしれないんですけど、客観的な事実で攻めるというのは気をつけないと突っ込まれる可能性があると思いますので、そこはちょっと伝え方というか。例えば、これだけの意見が集まりました、と同時に、意見交換会に集まった人の人数なり年齢層をセットで出すというのは、当然正当な意見となってくるので、そういったところも含めて、我々も不都合な情報を出さないということはないようにしなきゃいけないと思っているところですね。</p> <p>あとは個人的な意見として、これも割と皆さんと近いと思うんですが、やはり住民との対話は第一歩にすぎないと思うので、時間を延長するというのは落第的な解決策としては私もあるのかなと思いますし、こういう意見交換の機会をもっと継続して行って欲しいと思います。もう少し専門的な部分に関しては専門委員会みたいなものを立ち上げるということも含めて、やはりどちらかというプロセスの部分への提言というのを、個人的には重視したいという風に思っています。</p>
⑦	<p>冒頭で言われたのは、この幹事会、意見交換会の成果をきちんと総括して引き継いでいく、書き留めていくということですね。もうひとつは今回の修正案、基本整備計画そのもののプロセスが、やはり住民の意見を汲みあげていないという点で問題があって、それを今回の意見交換会でやったけれども、過ちというか失ったものは回復できていないと。そういう認識ですよ。それから具体的には、現修正案そのものについての問題点をきちんと指摘しておいたらいいんじゃないか、と。最初の成果との関連はあるでしょうけど、住民意見の集約・分析を客観的に、記録として残しておく。4番の、意見交換会説明コメント等は基本的に反対意見ばかりなので、賛成する人の顔が見えないと。これはいわゆる行政に「こういう意見がありますよ」と言ったときに、「これが全てなの」という突っ込みをさ</p>

	<p>れる可能性がある。これは一つの見方で、僕は違う見方だと思っているんですけど、そういうご指摘です。きちんとしたプロセスはこれから踏んでいくんじゃないですか、仕切り直しも含めて、と。こういう感じですね。</p> <p>これで公募委員の方のご意見は皆んな出て、ほぼ、これは④さんがまとめられると思うんですけど、共通点はプロセスに問題があったということと、今後の検討の区切りはないけれどもう1回、そもそも論で公園・道路が抱えている問題は何なのかということを中心に洗い出して、それに対してどういう解決方法があるのかと。一応基本計画修正案というものはあるんだけど、あるということを中心に念頭に置きながら、改めてここで言っている問題点は問題なのか。それに対する解決策は出ているわけですから、それに対する解決策が唯一のものなのか、他にいいのかないのか。これをもう1回時間をかけて、区民の意見も踏まえながら検討し直したらいいんじゃないですか、というようなご意見がいまの集約かな、と。それともうひとつは⑩さんの、今回のプロセスは非常に大切だと。要するに行政が1回計画を出してそれを修正して、この意見を募ると。幹事会や意見交換会という場を設けたことについては非常に評価すると。これはたぶん⑩さんが言われていた、最初はけんもほろろだったのが聞く耳を持つようになったということと共通していると思う。今回の幹事会、意見交換会のプロセスを行政が取ったということについては、お二人が言われていましたけれど、おふたりは高く評価して、今後もこういうプロセスを取って欲しいということ行政に伝えたらいいんじゃないかということが、違う観点からありました。こういうのが、僕がいま聞いた共通項かなと。⑩さんたちのいまの行政に対する評価、プロセス評価についてはおふたりの意見ですけれども、この点について異論がある方はいらっしゃいますか。それと⑨さんもペーパーが出ていて、基本的に同じような考えですね。もっと激しい言い方をされているけど、「やはりプロセスに問題があったんじゃないか」と。もう1回修正案があるということも念頭に置きながら、基本的に、ある意味でゼロスタートというわけじゃないけど、検討についてはゼロスタートしたら良いというのが⑨さんの意見でありますから。ここの場にいらしても同じようなことを言われたんだろうと思います。</p>
④	⑫さんの意見が。5-1です。
⑦	<p>同じようなご意見ですよね。公園の面積が削られる、乖離があるという意見と。「住民の声が反映されていないと思われる整備案等々、行政側と住民側の意識の乖離が大きいと思います」「今ある修正案をたたき台として、つまり区民の声を反映させた修正案に作り替えて見てはどうかと思う」と、同じ意見ですね。</p>
④	<p>ではいまの総括を報告させて下さい。</p> <p>皆さんのお話頂いたことを、これまでの区の計画、これに対する評価がまずありました。これまでのプロセスですね、調査が不足している、複数案の検討が不足している、つまり検討不足である。住民意見を聞くというプロセスがなかったし、設計プロセスに関わることができなかった。「お上がやることだから仕方がない」という感覚を持っている人もいた。まちの人の関心になっていない、イコール、実はこのままが良いのかもしれないという話もございました。道路計画先行で公園面積が減っているという計画になってしまった。なぜ事業をするのか明示してきていない。説明資料の図面表現が正確さに欠ける。心配事として道路横断の箇所が限られている、駐輪場がないという心配がある。</p>

	<p>表現が違っているだけかもしれません。提言書に盛り込みたいこと。</p> <p>複数案の検討プロセスに取り組む。工事着工を延長できないだろうか。いまのままでは反対が多いからですね。何がしかの具体的なことを書き込みたい。多かった意見を明示する。</p> <p>「公園面積の削減」「道路計画の調査」「自転車の通行対応」ということなどでございました。これはのちに出ました、意見交換会のこれまでの成果を明示して行き渡らせることとも同じです。あと1000の意見、幹事会、それから知り得たデータ、意見交換会等の成果を掲示する。こういったちょっと似ているものもありました。</p> <p>それから作成作業提案としては、区民との合意形成のために検討部会、「交通」「みどり」「流れ」「電線地中化」「公園活用」というものを立ち上げて、意見交換会③を取り組んでいくと。そういうプロセスを入れ込んでいきたい。</p> <p>ゼロメートル地帯での地中化、これを検討委員会等々で実証性を検証するべきという話もありました。</p> <p>修正案の課題を明示する。客観性、根拠が大切である。あともう一つ、公園を思う区民の気持ち、この感情・感性も伝える。これからも協働によるプロセスを大切にしていきたい。位置付けとして、期待されていることというので、⑩さんが言って下さった「きっと見直してくれるだろう」という話もありましたし、案は区民の意見、「実は区も区民の意見を求めているんじゃないか」という、懐に入り込んだ意見も先ほど頂きました。</p> <p>さて、最終的に⑦さんがまとめて下さったものをここに書いてみましたが、課題は何なのか。その認識のもとに立った解決策は複数あるじゃないか。その解決策は何なのか。これを共有・協働していくプロセスを重視していくべきではないか。そういうまとめ方を最後にしてくださったかと思いました。一応報告です。</p>
⑦	<p>そういった点で、かなりプロセスのことを皆さんは問題視しているんですが、その点はどうですか。区のこれまでの。</p>
①	<p>プロセスとしては、基本的な立場としては問題がないのでこういう風にやっていた。元々基本計画を提示したのは、この辺で工事をするわけではないということで、最初の去年の基本計画を提示して、少しずつ変えていった。更にこういうプロセスを経て意見交換会を経てどういう風になるかはこれから揉んでいくことになると考えていますけれども、皆さまの意見を聞きながらやってきたということは不十分でご意見はあるかもしれませんが、一応そういうプロセスを踏んできたと思っているので、こういう風にやってきたということです。もちろんそれについて批判も十分あるということは理解しています。事業に関しては、一応いまのところでは来年度から着工するということですが、いきなり来年度から公園部分を触るというわけではなくて、来年度に関してはそのベースとなるところを造成していく形で考えています。それは本当にこれから揉んでいくことになるかと思っています。この意見を受けてですので、いまのところはそういう計画を立てています、ということです。</p>
⑦	<p>例えば⑩さんから、モダンか古色蒼然。これの選択、どちらが良いんだろうというのも、やはり議論されたんですか、区のなかで。「モダンでいこう」という風に。</p>
①	<p>いまのスタイルですよ。</p>
⑦	<p>そういう議論はあったんですか。</p>
①	<p>当然あったと考えていますけれども。それはちょっとすみません。あって、こういう風な</p>

	形になっていると思います。
⑦	<p>その時に決めるのは使う区民、区民というか使う方ですよ。その使う区民はどちらが良いと、モダンが良いのか、いまが良いのか。その区民はどちらが良いという風に判断したか。モダンが良いという風に判断したんだと思うんだけど、その根拠とか、そこなんかも僕は知りたい。たぶんされていないんじゃないかと僕は思うんだけど。すみません、コンサルの方も。</p> <p>あとは 10/25 ですよ。10/25 のときに、まずとりあえずひとつ提言書案がここにあるわけですけども、分厚い提言書案があるわけですよ。いわゆるこれをベースでやるのか、ないしは骨格はこれで。今回⑨さんからもありましたけれども、提言書はもう少し A4 版 5 ページぐらいで、概要じゃないんですよ、それは。それは基本的な考え方は、経緯はこうで、現状についてはこういう問題がありますと。それについてはこういう検討をやってきました。修正案が出てきました。それに対して区民からこういうような意見がありました。この区民の意見を踏まえて、幹事会でも検討し意見交換会でも区民の意見を受けて、幹事会としてはこう思います、と。特にいまの結論だと、幹事会の結論は例えばひとつの案として、住民の声を聞いていくプロセス、課題について複数検討したうえで今回の案だという風には思えないので、そういう意味ではある時間をかけて課題の確認、解決策についてどういうものがあるのか。これに時間をかけて、例えば部会を作って検討すべきだと、そういうプロセスを取るべきだと考えますよ、と。こういう提言書案でこれは概説じゃないですよ。それで資料を、「区民の意見はこうです」と、「区からの説明です」というものを資料として添付していく。こういうのが一つの案かな、と思うんです。この辺はどうですか。プロの方が良く。</p>
⑧	<p>提言書の項目としては、⑦さんが少し仰っていたような、再修正案に向けて具体的に次の検討が進めるような、設計条件的な言語に置き換えての記述が必要かなと思っています。それが一つ。</p> <p>それと同様に重要なのが、ご意見が多く出ています、体制とプロセスの話。私もこの体制は当面維持した方が良いという立場です。この幹事会のこのメンバーが私は良いと思っていますけれども、改めて解散して公募という形もいくつかあると思いますけれども、こういった、区民が中心となったような具体的な検討をするプラットフォームはまだできていない。これをしっかり今回の提言書のまずは核にして、引き続き再修正案に対してコミットできる知恵を、いきなりは難しいかもしれないですけども、やっていく一つのきっかけとなるような提言。</p> <p>⑨さんが仰っていたような、この公園の事業に限らず、江東区が普通に市民へ意見を聞いてやるというようなプロセスが「取られた」という方と「取られていない」という方がいらっしゃるということは、やり方や問い方に課題があったんじゃないかと私は思うので、引き出し方や引き出す工夫をやり直すことは筋が通る話だという風に思います。</p>
④	まとめ方ですよ。いま聞かれたひとつは。まとめ方とすればこのたたき台があり、そういう構成で良しということであれば、たたき台はまたこれで。コンサルがいるということは、こういう意向をまとめるという役割の業務を日々やっているはずだから。
⑦	プロでしょう。
④	たたき台を作って回覧してみんなで共有ということができれば、そういうやり方

	もあると思いますね。それはちょっと諮って頂いていいですか。
⑦	どうですか。いま⑮さんが言われた。たたき台を1回作ってもらって、25日に出すのではなくて事前にメールでね。メールでないところは文書で、作るとすればWordで作るんですかね。要するにそれぞれが修正を加えられるような、そういう形で回してもらって、またそれをコンサルのほうで集約してもらって、そのプロセスを経て25日を迎えると。こういうことをしたらどうかと思うんですけど、皆さんどうですか。
④	まずはこの分厚いものではなく、バージョンとするとA4版で4～5ページくらい。そんな見込みをもってこういう意見を入れ込み、どう作れるのかをコンサルがやってみる。それを回覧するので必ずリアクションが欲しい。辛いからね、支えて欲しいし。⑮さんと⑯さんについては宅急便で送る。
⑦	どうですか、⑮さん。
⑮	こういう意見ができたということは、意見があつてこうだということ、仮に町会・自治会全部である程度アンケートを取って、自治会や町会の人たちの80%くらいが「この案で良い」ということになってきて、一部の方は反対だけど、やはり全体で。連合町会の会に役所の人に来て、「第1案、第2案はこうなってきた。アンケートを取って下さい」と。書かなきゃ書かない人もいいですけど、書いた人の意見を吸い上げる。そうするとだいぶ意見は違ってくると思うんですよ。この間行っている人たちの意見も、「私はどうでもいいですよ」という人もいるわけです、公園を利用しない人は。そういう風に何種類かありますから、アンケートを取ってやればだいぶ違うと思うんですよ。「お金をかけて折角やってくれるんだから、きれいになるんだから良い」という人もいるんです、単純で。そういうものあるから、この意見を把握していくと。私も聞いていると、公園はそのままにして、道路も大体そのまま、何もなくていいということにもなります、実際に。だけど皆さんで一生懸命に検討したんだから、それに対して地域の方に聞いてやれば、どういう意見が出るかということと大体は「役所のやってくれた意見で」と。道路だって車を運転しない人が多いんだから。そういうことで色々あるから、これはやるなら半年くらいはかかりますよ、実際。
⑦	そういう色々な意見を、とにかく集めてもう一回。やり直しと言ったら失礼かもしれないけど「プロセスを経たらどうですか」ということが、たぶん集約ですかね。
⑮	私はそうだと思うね。
⑦	⑬さんの意見については、色々⑰さんが…。
⑬	一般論として、民間企業だったらですよ。
⑦	そこは議論があるんですよ。
⑰	私が首をひねっていたのは、この企画自体は区が立てている企画じゃないですか。ここであがってきた、意見交換会をやって10人しか来なかった。「少数意見じゃないか」と言われても「お前が言うことじゃない」となる。
⑬	だから区が何をもちて区民の声と認めてくれるのかというところは、はっきりしている方がいいけど、一般論として、一般的には足りないよね、というところは気になる。
①	フィードバックはメールと交換便で色々させて頂きたいと思います。 それから、いま頂いたご意見は真摯に受けて、色々区の中でも検討したいと思っています。よろしく願いいたします。

今日はありがとうございました。

—以上—